

# 令和4年度16か月予算の主な事業

(参考資料)

徳 島 県



# 目 次

	頁
<b>1 感染症に強い「強靱で安心な社会」の構築</b>	
◆アフターコロナへ！「環境と経済の好循環」創出	
(1) G Xで実現！「サステイナブル農林水産業」の加速化	1
㊦ G X対応型施設園芸促進事業	
(2) 森林を活かし次代へ繋ぐ！県産材回帰の定着化	2
㊦ 県産木材競争力強化対策事業	
(3) 新たな「食」を切り拓く！とくしまブランドの展開	3
㊦ うまいでないで！「阿波ふうど」魅力発信事業	
(4) ㊦ 公共交通グリーンチャレンジ事業	4
(5) アフターコロナを見据えた「四国の右下」への誘客・移住促進	5
㊦ 「四国の右下」アウトドアスポーツツーリズム推進事業	
(6) 「徳島・にし阿波」の強みを活かした持続可能な地域づくり	6
㊦ 「徳島・にし阿波」農泊・移住交流促進事業	
(7) 捕って活用！野生鳥獣の捕獲強化と「阿波地美栄」の消費拡大	7
㊦ 「阿波地美栄」利活用拡大事業	
◆デジタル技術で実現！感染症に強い経済・社会の構築	
(8) ㊦ 「5 G遠隔医療」地域連携事業	8
(9) ㊦ オンライン診療・服薬指導推進事業	9
(10) ㊦ アフターコロナ「飛好機！再興」事業	10
㊦ 今こそ「飛好機！再興」事業	
(11) 新たな「食」を切り拓く！とくしまブランドの展開【P. 3再掲】	
㊦ 「徳島の食」販路拡大・ブランディング強化事業	
(12) ㊦ 離職者向けオンライン職業訓練推進事業	11
(13) 本格運用強化！G I G Aスクール構想の推進	12
㊦ デジタル社会形成を見据えた「とくしま学びのデータ活用」実証事業	
(14) 煌めく未来へつなぐ「あわ文化」の創造と継承	13
㊦ 新次元の文化部活動推進事業	
(15) ㊦ 1人1台端末を活用した児童生徒の心のサポート事業	14
(16) 本格運用強化！G I G Aスクール構想の推進【P. 12再掲】	
㊦ G I G Aスクール運営支援センター整備事業	
徳島県G I G Aスクール構想推進事業	
(17) 私立学校振興事業	15
㊦ D Xを活用した私立学校魅力向上推進事業	
(18) D Xで成長！「スマート農林水産業」の加速化	16
㊦ 県産和牛ブランド飛躍事業	
(19) ひとり親家庭就業支援強化事業	17

## ◆コロナ克服・とくしまの実装

(20)	⑨ 「G o T o トラベル」タイアップ事業	18
(21)	宿泊施設の投資促進	19
	宿泊施設投資促進事業補助金	
	宿泊施設民間融資活用資金利子補給補助金	
(22)	伴走支援型経営改善推進費補助金	20
(23)	中小企業者等への円滑な「資金繰り」支援	21
	新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業	
(24)	とくしま地域雇用再生プロジェクト	22
(25)	新型コロナウイルス安定雇用促進支援事業	23
(26)	新型コロナウイルス感染症対策（ワクチン接種体制の確保）	24
(27)	新型コロナウイルス感染症対策（相談・検査体制の確保）	25
(28)	新型コロナウイルス感染症対策（医療提供体制の確保）	26
(29)	⑨ 福祉・看護職員等賃金改善事業	27
(30)	私立学校振興事業【P. 15再掲】	
	⑨ 私立学校感染症対策支援事業	
(31)	コロナに負けない！女性つながりサポート事業	28

## 2 「デジタル田園都市『徳島』の具現化」

### ◆徳島が先導！グリーンイノベーションの推進

- (32) 中小企業者等への円滑な「資金繰り」支援【P. 21再掲】
  - ⑨ 中小企業振興資金貸付金・GXビジネス促進資金の創設
- (33) 戦略的企業誘致とGX投資の促進 29
  - ⑨ 企業立地促進事業費補助金・GX投資促進事業の創設
- (34) 中小企業の海外展開を通じた地域経済の活性化 30
  - ⑨ 循環経済とくしま・グリーンイノベーション事業
- (35) ものづくり企業GX・DXの導入促進 31
  - ⑨ ものづくり企業GX推進事業
- (36) とくしま「健幸」イノベーションの推進 32
  - ⑨ 持続可能な社会をつくる「食・ツーリズム」イノベーション創出事業
- (37) ⑨ 「転職なき移住」をリード！「サステナブルワークスタイル」の創出 33
  - ⑨ アワーケーション拡大強化プロジェクト
  - ⑨ 複業人材活用進化展開プロジェクト
- (38) GXで実現！「サステナブル農林水産業」の加速化【P. 1再掲】
  - ⑨ 有機農業等産地拡大加速化事業
  - ⑨ とくしまグリーン栽培転換支援事業
  - ⑨ 未来につなぐ水稲生産体制確立事業
  - ⑨ 次代につながる畜産経営モデル事業
- (39) マーケットインの発想で雄飛！農林水産物等輸出の加速化 34
  - ⑨ 生産現場における国際規格認証取得支援事業
- (40) 未来へつなぐ！農林水産業「担い手対策」の新展開 35
  - アグリビジネスアカデミー運営費
  - ⑨ とくしま林業アカデミープラス人材育成強化事業
  - とくしま漁業アカデミー活性化支援事業
  - ⑨ 新規就農者育成総合対策事業
  - とくしま林業リカレント支援事業
  - 人づくり革命・漁業リカレント事業
  - ⑨ 「農作業シェア」で健康増進！労働力支援モデル創出事業
- (41) 森林を活かし次代へ繋ぐ！県産材回帰の定着化【P. 2再掲】
  - ⑨ 県産材サプライチェーン構築事業
  - ⑨ 木造建築活性化事業
  - ⑨ 木づかい県民運動定着促進事業
- (42) 未来を切り拓く農林漁業者を応援！「農林水産業未来創造基金」 36
- (43) 捕って活用！野生鳥獣の捕獲強化と「阿波地美栄」の消費拡大【P. 7再掲】
  - ⑨ 活かせ多様な人材！鳥獣捕獲強化事業
  - 「阿波地美栄」魅力発信・消費拡大パワーアップ事業

## ◆デジタル技術の実装！「地域経済の好循環」加速

- |      |  |    |
|------|--|----|
| (44) | ⑨ 大阪・関西万博魅力発信体制構築事業  | 37 |
| (45) | ⑨ 徳島観光デジタルマーケティング推進事業  | 38 |
| (46) | ⑨ 博物館誘客強化事業  | 39 |
| (47) | ものづくり企業GX・DXの導入促進【P. 31再掲】<br>⑨ ものづくり企業DX加速化事業   |    |
| (48) | ⑨ 「インフラDX」実装加速化事業  | 40 |
| (49) | ⑨ 道の駅等を拠点とした自動運転サービス導入促進事業   | 41 |
| (50) | DXで成長！「スマート農林水産業」の加速化【P. 16再掲】<br>生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業推進事業<br>⑨ 酪農経営DX化促進事業<br>⑨ 航空レーザ測量データ利活用推進事業<br>漁業調査船「とくしま」新船建造事業 |    |
| (51) | ⑨ 人に寄り添う「とくしまデジタル人材育成プラットフォーム」運営事業   | 42 |
| (52) | ローカル5Gプロジェクト加速事業   | 43 |
| (53) | ⑨ とくしまスマートワークプロジェクト  | 44 |
| (54) | サテライトオフィスの誘致・定着支援の強化<br>サステナブルワークスタイル推進事業<br>サテライトオフィス誘致促進事業   | 45 |
| (55) | ⑨ 「アフターコロナ」を牽引する「県庁DX」の具現化<br>⑨ 県庁業務デジタル化推進事業<br>⑨ 新次元のテレコミュニケーション   | 46 |
| (56) | ⑨ 道路管理DX統合基盤整備事業   | 47 |
| (57) | 未来につなげる広報広聴事業<br>⑨ メディアミックスを加速させる情報発信事業<br>ダイバーシティ対応型広報推進事業  | 48 |
| (58) | 戦略的企業誘致とGX投資の促進【P. 29再掲】<br>戦略的企業誘致強化事業<br>情報通信関連事業立地促進費補助金  |    |
| (59) | ⑨ DX推進！革新的業務手法の実装<br>⑨ DX推進！文書審査AI実装事業<br>⑨ 「リモート検査」実装事業   | 49 |
| (60) | ⑨ 夢と希望あふれる未来に向けた「あわ文化」の創造と継承<br>⑨ 「阿波人形浄瑠璃」魅力発信派遣事業<br>「吉野川・あわ文化」を巡る文化観光推進事業<br>とくしま「eスポーツ」推進加速化事業                       | 50 |
| (61) | ⑨ 藍場町地下駐車場プラスDX事業  | 51 |

## ◆革新創造・魅力感動とくしまの実装

- |      |  |    |
|------|--|----|
| (62) | ⑧ 女性の健康にかかる包括的な支援  | 52 |
|      | ⑧ Myライフプランニングサポート事業<br>このとり応援事業                                |    |
| (63) | 未来へつなぐ！保育現場サポートプロジェクト  | 53 |
|      | ⑧ 保育士養成施設に対する就職促進支援事業<br>保育士試験対策講座実施事業<br>とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業 |    |
| (64) | ⑧ ダイバーシティ実現！育休推進事業   | 54 |
| (65) | 令和4年度全国高校総体の推進と競技力向上関連事業                                       | 55 |
|      | 令和4年度全国高等学校総合体育大会推進事業<br>NEO徳島トップスポーツ校強化事業                     |    |
| (66) | 徳島文化芸術ホール（仮称）の整備   | 56 |
|      | 新ホール整備事業<br>徳島文化芸術ホール（仮称）管理運営等検討事業                             |    |
| (67) | ⑧ DMVスタートダッシュ応援事業  | 57 |
|      | ⑧ DMV阿佐東線モード・チェンジ事業  |    |
| (68) | 新たな「食」を切り拓く！とくしまブランドの展開【P. 3再掲】                                |    |
|      | とくしまブランド新商流構築事業<br>「阿波ふうど」新しい物流促進事業                            |    |
| (69) | アフターコロナを見据えた「四国の右下」への誘客・移住促進【P. 5再掲】                           |    |
|      | アフターコロナを見据えたサステナブルツーリズム推進事業<br>「きゅうりタウン」から広がる多様な人材発掘支援事業       |    |
| (70) | 「徳島・にし阿波」の強みを活かした持続可能な地域づくり【P. 6再掲】                            |    |
|      | 「徳島・にし阿波」桃源郷魅力強化事業<br>みんなで守る！「世界農業遺産」維持・発展事業                   |    |
| (71) | ⑧ アフターコロナ「飛好機！再興」事業【P. 10再掲】                                   |    |
|      | アフターコロナ航空戦略事業  |    |
| (72) | 煌めく未来へつなぐ「あわ文化」の創造と継承【P. 13再掲】                                 |    |
|      | 次代へ継承・文化芸術創造事業<br>あわっ子グローバル文化芸術事業                              |    |
| (73) | 中小企業者等への円滑な「資金繰り」支援【P. 21再掲】                                   |    |
|      | 中小企業金融円滑化推進費   |    |
| (74) | 中小企業の海外展開を通じた地域経済の活性化【P. 30再掲】                                 |    |
|      | ⑧ とくしま戦略的輸出拡大サポート事業<br>ものづくり企業海外展開支援事業<br>とくしま海外展開支援プラットフォーム事業 |    |
| (75) | とくしま「健幸」イノベーションの推進【P. 32再掲】                                    |    |
|      | とくしま「健幸」イノベーション創出促進事業  |    |

- (76) マーケットインの発想で雄飛！農林水産物等輸出の加速化【P. 34再掲】  
とくしまブランド海外プロモーション事業  
徳島マーケット・イノベーション推進事業  
徳島県産海外コールドチェーン構築事業  
⑨ マーケットインに基づいた輸出産地の育成事業
- (77) ⑨ 夢と希望あふれる未来に向けた「あわ文化」の創造と継承【P. 50再掲】  
⑨ 放課後子ども文化体験プログラム事業  
⑨ 「あわ三大音楽」連携創造事業  
⑨ とくしま文化・未来創造事業  
徳島県民文化祭開催事業
- (78) ⑨ 新たな時代の「スポーツツーリズム」の創造  
⑨ 新たなスポーツ大会・合宿スタイル発信事業  
⑨ ワールドマスターズゲームズ関西レガシー先行事業

### 3 「脱炭素×県土強靱化」安全・安心な地域づくり

#### ◆気候危機を迎え撃つ！脱炭素ロードマップの展開

- (79) 「自然エネルギー」の導入加速 59  
    ゼロカーボンシティ推進事業  
    ⑨ 太陽光発電等の率先導入及び民間への普及促進事業  
    ⑨ 促進区域に係る環境配慮基準策定事業
- (80) 大規模災害を見据えた「事前復興」の加速 60  
    ⑨ 事前復興・地域マイクログリッド融合事業
- (81) 「水素エネルギー」実装加速！「水素立県とくしま」の推進 61  
    「水素立県とくしま」普及促進事業  
    ⑨ 新たな水素供給拠点整備構築事業  
    ⑨ ゼロカーボン・ドライブ普及促進事業
- (82) ⑨ GX実装に向けたCNP計画検討事業 62
- (83) ⑨ 海洋ごみ発生抑制に係るプロモーション事業 63
- (84) ⑨ 「経済と環境の好循環」による脱炭素社会推進事業 64
- (85) GXで実現！「サステナブル農林水産業」の加速化【P.1再掲】  
    ⑨ 新たな挑戦 技術開発プロジェクト  
    ⑨ 気候変動適応型藻類養殖推進事業
- (86) ⑨ とくしまGXスクール推進事業 65
- (87) 未知を切り拓く、新時代「ダイバーシティとくしま」の実現 66  
    ⑨ 新時代「特別支援学校SDGs」創出事業

#### ◆デジタル技術を活用！徳島版SDGsの実践

- (88) 災害列島を迎え撃つ「安全・安心」の実装 67  
    「とくしまゼロ作戦」県土強靱化推進事業  
    ⑨ 未来志向避難所運営モデル検証事業
- (89) ⑨ 被災建築物・宅地判定活動支援システム構築事業 68
- (90) 大規模災害を見据えた「事前復興」の加速【P.60再掲】  
    ⑨ VR活用災害に強いひと・まちづくり事業
- (91) ⑨ 地域医療勤務環境改善体制整備事業 69
- (92) 介護サービス事業所等ICT・介護ロボット導入促進事業 70
- (93) ⑨ スポーツDX推進事業 71
- (94) チャレンジ！健康寿命アップ事業 72
- (95) DXを捉えて！消費者政策の国際拠点化の推進 73  
    ⑨ 世界へ発信！消費者政策「国際拠点化」推進事業  
    消費者行政・消費者教育国際連携ネットワーク強化事業  
    世界の架け橋へ！とくしま消費者政策グローバル化推進事業
- (96) ⑨ 日本のSDGsを徳島がリード！「オール徳島SDGs推進事業」 74  
    ⑨ オール徳島SDGs推進事業
- (97) SDGsの実現に向けた新次元の消費者政策の加速 75  
    新しい未来へ！徳島がはじめるSDGs実践プロジェクト

(98)	未来にはばたけ！障がい者就労促進事業	76
(99)	誰もが輝く！「ダイバーシティとくしま」の実現 ⑨ ユニバーサルカフェ支え合い促進事業	77
(100)	⑨ 虐待防止のためのSNS相談事業	78
(101)	⑨ 県営住宅高齢者見守りサービスモデル事業	79

## ◆安全・安心とくしまの実装

(102)	未知を切り拓く、新時代「ダイバーシティとくしま」の実現【P. 66再掲】 新時代対応！国府支援学校整備事業	
(103)	⑨ 医療的ケア児等支援体制整備事業	80
(104)	⑨ ヤングケアラー支援事業	81
(105)	妊産婦や乳幼児が安心して避難できる避難所の確保 ⑨ 妊産婦・乳幼児災害時避難生活安心確保事業 災害福祉支援ネットワーク構築推進事業	82
(106)	大規模災害を見据えた「事前復興」の加速【P. 60再掲】 事前復興啓発事業	
(107)	災害列島を迎え撃つ「安全・安心」の実装【P. 67再掲】 WITHコロナ・事前避難促進事業	
(108)	誰もが輝く！「ダイバーシティとくしま」の実現【P. 77再掲】 ⑨ ダイバーシティとくしま推進事業	
(109)	フレイル予防推進事業	83
(110)	県立中央病院ER棟整備推進事業	84

**GX** GXで実現！「サステイナブル農林水産業」の加速化



【令和4年度当初予算額 28,200千円】  
 【令和3年度2月補正額 81,500千円】

1 目的 気候変動に伴う生産現場への影響が懸念される中、「徳島発GX」による「持続可能で競争力ある農林水産業」の実現に向け、ニーズに即応した技術開発と現場実装の加速化を図る。

2 事業内容 (1) **新たな挑戦 技術開発プロジェクト** 21,000千円

地球温暖化対策として、環境負荷を軽減する「緩和策」及び気候変動の影響を回避・軽減する「適応策」両輪での新技術開発、新ブランド創出等に取り組む。

- ① 温室効果ガス排出を低減する家畜飼料給与技術の開発
- ② トロピカルフルーツ（フィンガーライム、マンゴー）の安定生産技術の開発 等

(2) **技術を確立 現場実証プロジェクト** 27,700千円

生産性と持続性の両立に向け、「大規模実証ほ場」による環境にやさしい農業の効果検証を進めるとともに、水稻栽培への温室効果ガス低減技術や藻類養殖における県独自の施肥技術の確立、もみ殻を活用した循環型畜産モデルの構築など、現場実証に取り組む。

- ① とくしまグリーン栽培転換支援事業
- ② 未来につなぐ水稻生産体制確立事業
- ③ 気候変動適応型藻類養殖推進事業
- ④ 次代につながる畜産経営モデル事業

(3) **さらなる展開 実装拡大プロジェクト** 61,000千円

持続可能な生産体制の全県展開に向け、環境負荷低減技術の普及を通じた有機農業等の面的展開を加速化するとともに、園芸ハウスの暖房効率を高める多重被覆や適正温度管理を可能とするセンサーの導入など、産地が取り組む化石燃料低減技術の実装拡大に取り組む。

- ① 有機農業等産地拡大加速化事業
- ② GX対応型施設園芸促進事業

担当：もうかるブランド推進課、畜産振興課、水産振興課、経営推進課



# 森林を活かし次代へ繋ぐ！県産材回帰の定着化



【令和4年度当初予算額 127,700千円】  
 【令和3年度2月補正額 1,264,500千円】

1 目的 ウッドショックを機に「県産材回帰」の機運が高まっていることから、川上から川下までの縦・横連携の強化や木育の新たな展開等により、木材需給の安定と利用拡大を図り、林業の成長産業化とカーボンニュートラルに資する木材利用を強化する。

2 事業内容 (1) **新** 県産材サプライチェーン構築事業 5,500千円

「持続可能な林業」の確立に向け、原木仕分け人材の育成や、県産材製品の流通モデルの整備により、A材の大ロット・安定取引を進め、川上から川下に至る県産材のサプライチェーンを構築する。

(2) **新** 県産木材競争力強化対策事業 1,324,200千円

本格的な利用期を迎える森林資源に対応し、県産材製品の競争力を高めるため、大型乾燥機の導入等、木材加工施設の整備を支援するとともに、大型製材工場と中小製材工場との「横連携」を図り、県産材の加工・供給体制を強化する。

(3) **新** 木造建築活性化事業 51,500千円

「木材利用促進法」の改正を機に、更なる県産材の利用を進めるため、展示効果の高い公共施設への県産材利用の支援や、木造建築に秀でた建築士の育成など、建築物の木造・木質化をハード・ソフト両面から活性化する。

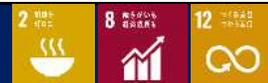
(4) **新** 木づかい県民運動定着促進事業 11,000千円

新たな木育拠点である「徳島木のおもちゃ美術館」を核として、徳島ならではの「木づかい運動」を定着させるため、「子ども向け木育ガイドブック」の製作や「企業向け木育活動」の展開、県産材玩具などの新たな商品開発を行う。



「徳島木のおもちゃ美術館」  
オープニングムービー

# 新たな「食」を切り拓く！ とくしまブランドの展開



【令和4年度当初予算額 31,500千円】

【令和3年度2月補正額 44,500千円】

**1 目的** 消費者の「食」のニーズや行動の変容が進む中、「選ばれる徳島県産品」の実現に向け県内をはじめ大都市圏の飲食店等と連携を図り、「徳島の食」を求め、本県を訪れるフードツーリズムの推進や、「徳島の食」の魅力発信・販売力の強化など、アフターコロナの新たな時代を切り拓く取組みを積極的に展開する。

**2 事業内容** (1) 「オール徳島」体制による「阿波ふうど」の消費・販売の拡大 **GX** 14,000千円

「大阪・関西万博」を見据え、「食べに行きたい“徳島”」の創出へと繋げるとともに、「阿波ふうど」の消費・販売拡大と認知度向上を図るため、観光部局と連携し、阿波ふうど繁盛店において、県産食材を使用した料理を提供する「メニューキャンペーン」を展開する。

⑨ うまいでないで！「阿波ふうど」魅力発信事業

(2) 発信力の高い販売チャネルを活用したブランディングの強化 **DX** 30,500千円

首都圏における「徳島の食」の認知度向上やブランディングの強化を図るため、「徳島ゆかりの飲食店」ネットワークと連携したメニューフェアの開催や、リアルとオンラインのハイブリッドにより、「食」をフックとした阿波文化・観光などの「徳島の魅力」をまるごと体験するワークショップを開催する。

⑨ 「徳島の食」販路拡大・ブランディング強化事業

(3) 多様な市場流通・販売チャネルの深化 31,500千円

首都圏をはじめ大消費地における「新たな商流」の構築を図るため、「とくしまブランド推進機構」と連携し、商談会やテストマーケティングの実施など生産者と実需者とのマッチングや、航空便など多様な物流手段を活用した輸送体制の強化を図る。

- ・とくしまブランド新商流構築事業
- ・「阿波ふうど」新しい物流促進事業



阿波ふうどまるごとサイト

担当：もうかるブランド推進課

【令和3年度2月補正額 888,000千円】

1 目的 自家用車から公共交通への転換による「グリーン社会の実現」を目指すため、WITHコロナにおける公共交通の需要を喚起し、社会経済活動を後押しする「プレミアム交通券の発行」や「貸切バスのスマート利用の推進」などとともに、陸上輸送から海上輸送への「モーダルシフト」を促す取組みを支援する。

2 事業内容 **(1) WITHコロナの公共交通需要を喚起 858,000千円**

WITHコロナにおける公共交通の需要を喚起する取組みを支援し、「利用促進」と「業と雇用の維持・確保」を図る。

○とくしまプレミアム交通券の発行  
・県内公共交通機関等の需要を喚起するプレミアム交通券の発行

○公共交通における安全安心な運行等の推進  
・幹線系統バスにおける感染防止対策への支援  
・貸切バス「スマート利用」への支援  
・空港ターミナルの受入環境高度化支援

○DMV（デュアル・モード・ビークル）を核とした公共交通の利用促進  
県内公共交通の需要を喚起するため、世界初の本格営業運行を開始したDMVとのコラボレーションを行い、相乗効果による利用促進を図る。

**(2) (新) モーダルシフトによるグリーン社会の実現 30,000千円**

「2050年カーボンニュートラルの実現」に向け、陸上輸送から海上輸送への転換を促す取組みを支援する。

# アフターコロナを見据えた「四国の右下」への誘客・移住促進



【令和4年度当初予算額 34,820千円】

## 1 目的

アフターコロナを見据えた「四国の右下」への誘客・移住促進を図るため、「ニューノーマル」に対応した着地整備やプロモーション強化、生産環境整備に取り組む。

## 2 事業内容

### (1) ① 「四国の右下」アウトドアスポーツツーリズム推進事業 **GX** 7,000千円

国の「グリーン成長戦略」においても利用促進が推奨されているサイクリングをはじめとするアクティビティや地域の魅力を体感できる「アウトドア・スポーツツーリズム」を推進する。

- ニューノーマル対応型「四国の右下」ロードライドによる滞在型観光の推進
  - ・DMVなど「四国の右下」ならではの地域資源をコースに組み込んだ「ロゲイニング方式」によるサイクリングイベントの開催
  - ・サイクリング専用の大型観光バス「サイクル・キャビン」の活用
- トップアスリートを活用した「四国の右下」ファンの拡大



「みぎアゲTV」

### (2) アフターコロナを見据えたサステナブルツーリズム推進事業 25,800千円

持続可能な観光地域づくりを推進するため、「新たな旅のスタイル」の構築や地域の受入環境の整備などを図る。  
○「四国の右下観光局」を核とした持続可能な観光地域づくりの実現

- ① ○アフターコロナを見据えた「四国の右下」プロモーション
  - ・DMV運行開始を契機としたプロモーション強化
  - ・「アドベンチャー・ツーリズム」をはじめとする新たな旅行需要の喚起



「Deep South Tokushima, Japan」  
(英語版SNS)

### (3) 「きゅうりタウン」から広がる多様な人材発掘支援事業 2,020千円

「きゅうりタウン構想の実現」に向け、多様な人材が活躍できる生産環境を整備する。

- ① ○施設整備の課題を克服する「木骨ハウスの適応性調査」や「空きハウスのフル活用」
- ① ○「収穫ロボット開発コンソーシアム（仮称）」への参画によるスマート農業の加速

担当：地域創生防災部、農林水産部

# 「徳島・にし阿波」の強みを活かした持続可能な地域づくり



【令和4年度当初予算額 42,200千円】

**1 目的** 地域住民が安心して快適に暮らせる持続可能な「にし阿波」を実現するため、アフターコロナを俯瞰し、地域が一体となって、「にし阿波」独自の魅力ある地域資源を最大限に活かした地域づくりに取り組む。

**2 事業内容** (1) 「徳島・にし阿波」桃源郷魅力強化事業 **31,000千円**

「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の強みを活かし、アフターコロナに選ばれる観光地域づくりを推進するため、重点支援DMO「そらの郷」を核に、「ここだけ」の魅力的なコンテンツを活かした新たな旅行商品を造成し、戦略的なプロモーションを実施するとともに、「にし阿波」ならではの教育旅行の魅力効果を効果的にアピールする。



「Hidden Tokushima: Iya Valley & Other Wonders」  
(facebook)  
※外国人地域おこし協力隊による  
情報発信

(2) みんなで守る！「世界農業遺産」維持・発展事業 **7,200千円**

「世界農業遺産」を核に、SDGs先進地域「にし阿波」への関心をより高め、「持続可能な地域づくり」を推進するため、戦略的な情報発信や農業者の所得向上、人材育成等の取組みを発展・深化させるとともに、象徴品目「雑穀」の安定的な供給体制の確立や「多様な担い手」の確保に取り組む。

(3) ①「徳島・にし阿波」農泊・移住交流促進事業 **GX** **4,000千円**

「にし阿波」の豊かな自然や伝統的な暮らしを活かした「農泊」を核に、地域活性化を図るため、農泊事業者や農業者等を対象に、農泊推進の気運を醸成するフォーラムの開催、ワーケーション対応や新規参入を推進するとともに、「農泊」を利用した就農体験ワーケーションツアーを実施する。



「徳島剣山世界農業遺産推進協議会」  
(Instagram)

担当：地域創生観光部、農林水産部

# 捕って活用！野生鳥獣の捕獲強化と「阿波地美栄」の消費拡大



【令和4年度当初予算額 58,290千円】

【令和3年度2月補正額 3,150千円】

**1 目的** 県民の皆様に鳥獣被害の低減を実感していただくため、捕獲の即戦力となる多様な人材を活用し、広域的な捕獲を推進するとともに、高タンパクで鉄分やビタミンB群が豊富なジビエの機能性を活かした商品開発や消費拡大を推進し、野生鳥獣の「捕獲と利用」を一層強化する。

**2 事業内容** (1) **新** 活かせ多様な人材！鳥獣捕獲強化事業 30,200千円

県と市町村等が連携し、境界付近や複数市町村に跨がる地域での捕獲体制を強化するため、野生鳥獣の生息状況調査や退役自衛官等の即戦力人材の活用、効率的な捕獲に向けたIoT技術の導入等により、広域的な捕獲に取り組む。

(2) **新** 「阿波地美栄」利活用拡大事業 3,150千円

捕獲鳥獣の利活用を促進するため、防災食やペットフード等の新たな商品開発を支援するとともに、飲食店や学校給食、自衛隊等でのジビエ利用の拡大を推進する。

(3) 「阿波地美栄」魅力発信・消費拡大パワーアップ事業 28,090千円

「阿波地美栄」の魅力発信や消費拡大のため、「阿波地美栄フェスタ」の開催や大学と連携し、ジビエの機能性を活かした「アスリート食」の開発を進めるとともに、ジビエ処理加工施設の整備による安全安心な供給体制の強化を図る。

DX

# 新「5G遠隔医療」地域連携事業



【令和3年度2月補正額 89,000千円】

1 目的 県立中央病院ER棟や徳島医療コンソーシアム参加医療機関にローカル5G基地局を設置し、5G技術を活用した遠隔医療システムを導入することにより、県内の公立・公的病院における地域医療支援機能の強化を図る。

2 事業内容 (1) 新 徳島医療コンソーシアムへの5G遠隔医療の拡大 61,500千円

5G技術を活用して、質の高い医療の提供、地域における医療格差の解消、患者・医師の負担軽減を図るため、徳島医療コンソーシアム参加医療機関とER棟を核とした県立病院等を5G遠隔医療システムで接続するとともに、整備に係る費用等を補助することで、地域医療の支援体制を拡大する。

(2) 新 県立中央病院ER棟へのローカル5G導入 27,500千円

県立中央病院ER棟に設置するローカル5G基地局により、高速で安定した5G遠隔医療を実現するとともに、アンテナ等を携帯電話会社のキャリア5Gと共有する「インフラシェアリング」を導入し、「広域化」を両立させる全国初の取組みを通して、将来的な「救急医療」への活用に繋げ、県内の5G遠隔医療の体制構築を図る。



徳島5G革命

【令和3年度2月補正額 112,000千円】

- 1 目的 新型コロナウイルス感染拡大などの非常時においても、対面せずに診療・服薬指導ができる環境を整備するため、新型コロナウイルス感染症の在宅療養者対応を行う「自宅健康観察支援サポート医」が所属する医療機関及び「自宅健康観察支援サポート薬局」に対するオンライン診療・服薬指導の導入支援等を行う。

2 事業内容 (1) オンライン診療推進事業 98,300千円

オンライン診療を実施する「サポート医」が所属する医療機関に対し、オンライン診療の導入経費を補助するとともに、利用促進のための周知啓発を行う。

【補助対象】：オンライン診療に必要となる情報通信機器等の購入経費  
情報セキュリティ対策に必要となる経費など

【補助率】：10/10

【上限額】：30万円

(2) オンライン服薬指導推進事業 13,700千円

オンライン服薬指導を実施する「サポート薬局」に対し、オンライン服薬指導の導入経費を補助するとともに、利用促進のための周知啓発、薬局に対する研修等を行う。

【補助対象】：オンライン服薬指導に必要となる情報通信機器等の購入経費

【補助率】：10/10

【上限額】：5万円

# 新 アフターコロナ「飛好機！再興」事業



【令和4年度当初予算額 72,000千円】  
 【令和3年度2月補正額 33,000千円】

## 1 目的

新型コロナウイルスの影響により低下した徳島阿波おどり空港の「更なる利用促進」で「航空ネットワークの維持・充実」を図るため、令和4年度を“飛ぶ、好機”として位置づけ、アフターコロナを見据えた「新たな航空需要の創出」や「新たな路線の開拓」に取り組む。

## 2 事業内容

### (1) 新 今こそ「飛好機！再興」事業 DX 70,000千円

- とくしまチャレンジフライトNext  
 地方都市連携による「チャーター便」等のタイムリーな就航を目指し、アフターコロナを見据えた「新たな運航スタイル」の創出を支援
- とくしまタイアップフライトNext  
 徳島阿波おどり空港発着路線（既存路線）の利用促進とともに、観光をはじめ新しい働き方「ワーケーション」等の推進につながる旅行商品造成や情報発信を支援
- 頑張れ！ヒコーキ応援事業  
 航空会社や旅行会社からの提案により、「Ma a S」による2次交通連携や「デジタルワクチン接種証明」を活用した「新たな航空需要の創出」等、「地域活性化」に資する取組みを支援

### (2) アフターコロナ航空戦略事業 35,000千円

今後の渡航・入国制限解除等を見据え、徳島阿波おどり空港への国際線誘致に向けた戦略的なエアポートセールスを実施するとともに、就航時の運航経費等を支援

担当：次世代交通課

1 目的 コロナ禍において、訓練受講生の感染防止を図るとともに、受講に係る時間や場所の制約を緩和し、安全性、利便性の向上を図るため、県が民間教育訓練機関に委託して行う「離職者向け職業訓練」について、オンラインによる訓練の実施を推進する。

2 事業内容 **オンライン職業訓練の推進**

民間教育訓練機関がオンラインによる職業訓練を実施する場合に、「かかり増し経費」について、委託訓練費の上乗せを行う。



「委託訓練の紹介」

- 対象訓練 IT技能科、DX基礎科、テレワーク実務科、医療事務科 等
- 実施方法 テレビ会議システム等を活用した同時双方向オンライン訓練
- 委託先 民間教育訓練機関
- コース数 3コース程度を想定

# 本格運用強化！GIGAスクール構想の推進



【令和4年度当初予算額 146,521千円】

【令和3年度2月補正額 153,783千円】

## 1 目的

1人1台端末を効果的に活用することにより、新時代に対応した資質・能力の育成を図る教育活動を推進するため、ICT利活用環境の確保やヘルプデスクの設置に取り組むとともに教育データの利活用に関する実証を行う。

## 2 事業内容

### (1) 徳島県GIGAスクール構想推進事業 146,521千円

GIGAスクール構想の実現に向けた取組みを加速し、1人1台端末を余すことなく活用し、教職員のICT活用指導力の向上を図り、児童生徒の可能性を最大限に引き出す「個別最適な学び」や「協働的な学び」を推進するため、学校におけるICT利活用環境(授業支援アプリ・デジタル教科書・セキュリティ等)を確保する。

### (2) ① GIGAスクール運営支援センター整備事業 143,783千円

学校における1人1台端末を含むICTを利活用した教育活動を推進するため、県と市町村等が連携した広域の「GIGAスクール運営支援センター」を設置し、サポート体制の強化を図る。

- ・開設に向けての事前調査、ネットワーク点検・応急対応
- ・学校及び家庭でのICTの利活用に関するヘルプデスクの設置 など

### (3) ① デジタル社会形成を見据えた「とくしま学びのデータ活用」実証事業 10,000千円

1人1台端末により蓄積される学習データを活用し、児童生徒への適切な指導助言に繋げるとともに、教職員の負担軽減を図るため、児童生徒の学習データをCBT形式で収集・分析するシステムを整備し、モデル校で実証を行う。

※CBT：【Computer Based Testing】コンピュータを使った学習



「徳島県GIGAスクール構想HP」

担当：総合教育センター

# 煌めく未来へつなぐ「あわ文化」の創造と継承



【令和4年度当初予算額 36,750千円】

## 1 目的

「あわ文化」を中高生に継承し、ふるさと徳島の魅力を再発見し発信する人材を育成するため、阿波人形浄瑠璃の伝承や中学校における「あわ文化教育」を推進する。  
また、時代のニーズに対応するための合同部活動を実施するとともに、優れた文化芸術に触れる機会や成果発表の場を創出する。

## 2 事業内容

### (1) 次代へ継承・文化芸術創造事業 30,500千円

- 「文化芸術リーディングハイスクール」推進事業
  - ・ 「名西高校フェスティバル」開催（「音・美・書の新たな融合」による発表会）
  - ・ 生徒によるタブレット端末を用いたリーディングハイスクールの発信
- 「阿波人形浄瑠璃」継承事業
  - ・ 「第7回ジュニア浄瑠璃フェスティバル」開催
  - ・ 高校生による阿波人形浄瑠璃の海外発信

### (2) あわっ子グローバル文化芸術事業 3,750千円

- あわっ子グローバルプロジェクト
  - ・ GXをメインテーマに地域と連携した自然環境プロジェクトを展開し、「あわっ子文化大使」による本県ならではの体験を通じた発信
- あわ文化教育事業
  - ・ 1人1台端末を活用した「オンラインあわ文化検定」の実施（参加生徒の拡大）
  - ・ 中学校教員を対象としたオンラインでの「あわ文化教育リーダー研修」

### (3) ① 新次元の文化部活動推進事業 2,500千円

- ・ 複数校の生徒が同じ部活動に参加する合同部活動のハイブリッド実施による持続可能な「文化部活動モデル」の構築



「あわ文化教育HP」

担当：グローバル・文化教育課

**DX**

**新**

# 1人1台端末を活用した児童生徒の心のサポート事業



【令和3年度2月補正額 3,750千円】

## 1 目的

いじめや不登校をはじめ、不安や悩みを抱える児童生徒は多く、児童生徒の心のケアは喫緊の課題となっている。

すべての児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう1人1台端末を活用し、「動画コンテンツ」や「心のケア支援システム」を通じて、児童生徒の心の状態の早期把握を図り、心のケアを一層支援する。

## 2 事業内容

### (1) 「動画コンテンツ」作成

2,296千円

家庭において親子で一緒に学べる「家庭人権学習動画」や「セルフケア動画」を作成し、1人1台端末を活用した人権学習と個別最適化した心のサポートを行う。



「とくしまこころのサポート」動画

- ・児童生徒と保護者が一緒に学べる「家庭人権学習動画」の作成
- ・スクールカウンセラー監修による児童生徒の「セルフケア動画」の作成

### (2) 「心のケア支援システム」活用モデル事業

1,454千円

モデル校において、1人1台端末を活用し、児童生徒が心の状態を定期的にセルフチェックするとともにチェックデータを学校内で共有することにより、児童生徒のSOSサインを早期に把握し、心のケアの一層の支援につなげる。

担当：人権教育課

## 私立学校振興事業



【令和4年度当初予算額 1,057,589千円】  
 【令和3年度2月補正額 56,500千円】

1 目的 全ての意志ある高校生等が安心して教育を受けることができる環境を構築するため、家庭における教育費の負担軽減を図るとともに、私立学校等の魅力ある学校づくりに向けた取組み等に対し、助成を行う。

2 事業内容 (1) 家庭に対する支援 335,035千円

家庭の経済状況にかかわらず、多様な就学機会を確保するため、低所得世帯等を対象に、授業料の軽減補助等を行う。

⇒ ① 私立小中学校への入学後に保護者の失職・倒産等により家計が急変した世帯に対し、授業料補助の支援を新たに実施する。【年額336千円（最大）】

(2) 学校に対する支援 779,054千円

① 私立学校運営費補助金等 722,554千円  
 私立学校及び専修学校（高等課程）の教育条件の維持向上や経営の安定化、特色ある教育活動の実施等を推進するため、運営費等に対する助成を行う。

② ① DXを活用した私立学校魅力向上推進事業 DX 40,000千円  
 私立学校の魅力や教育の質の向上を図るAI等を活用した特色ある教育の取組みを支援する。【補助率：1/2、上限額：5,000千円/校】

③ ① 私立学校感染症対策支援事業 16,500千円  
 感染リスクを減らしつつ、十分な教育活動を実施するため、私立学校が行う保健衛生用品の整備などを支援する。  
 【小・中・高・専修（高等課程）：1,500千円以内、幼稚園：500千円以内】

担当：総務課

**DX**

## DXで成長！「スマート農林水産業」の加速化



【令和4年度当初予算額 209,640千円】  
 【令和3年度2月補正額 7,900千円】

- 1 目的 農林水産業の成長産業化に向け、生産現場における労働力不足解消や品質向上、さらには消費拡大に至るまで、未来技術を活用したDXによる「スマート農林水産業」の加速化を図る。
- 2 事業内容
- (1) **生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業推進事業** 12,000千円  
 生産性の飛躍的な向上を図るため、IoT、AI、ロボット等の先端技術を活用し、作業の超省力化や高品質生産を可能にするスマート技術の開発を推進する。  
 ①イチゴ等の蜂に頼らない送風受粉ロボットの現場実装  
 ②トマトのハウス内微小害虫の早期自動識別による発生予測システムの開発  
 ③「匠の技」のデータ解析と「見える化」による高品質シイタケ生産技術の開発 等
  - (2) **①県産和牛ブランド飛躍事業** 2,300千円  
 県産和牛の食味向上による消費拡大に向け、デジタル技術を活用した脂質成分の「見える化」とデータ利活用体制を構築し、「おいしい県産和牛」への改良につなげる。
  - (3) **①酪農経営DX化促進事業** 5,600千円  
 酪農経営の労働負荷軽減に向け、乳牛をリアルタイム監視する「遠隔カメラ」や「IoTセンサー」をはじめとした先端機器の試験的導入、効果検証等の取組みを支援する。
  - (4) **①航空レーザ測量データ利活用推進事業** 25,000千円  
 高精度森林資源データの幅広い利活用推進のため、航空レーザ測量とオープンデータ化に取り組み、一般利用者による林業施業等における本格活用を開始する。
  - (5) **漁業調査船「とくしま」新船建造事業** 172,640千円  
 漁業操業の効率化と高度化に向け、水深別海流や海底地形の広域かつ高精度な観測と、AIを活用した迅速な予報配信など、最先端の機能を付加した漁業調査船を建造する。

担当：畜産振興課、スマート林業課、経営推進課

1 目的 コロナ禍において、依然として厳しい状態にある「ひとり親家庭」が、経済的に安定し自立した生活を送るため、より収入の高い就業を可能にする、資格取得から就業までの長期的な支援を実施する。

## 2 事業内容 「登録販売者」の資格取得のための講習会の開催

専門性の高い公的資格である「登録販売者」の「受験対策講習会」について、定員を拡充し、感染症対策にも配慮した「オンライン」で開催するとともに、就業支援バンクへの登録、求人情報の提供など、「資格取得から就業まで」のサポートにより、「ひとり親家庭」の経済的自立を図る。

### 【登録販売者】

第2類までの医薬品を販売することができる公的資格  
ドラッグストアを中心に雇用ニーズが高く、一般販売員よりも高収入が見込まれる。

## 新 「G。T。トラベル」タイアップ事業



【令和3年度2月補正額 120,000千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症の拡大により、大幅に減少している県外観光客の誘客を促進するとともに、県内観光需要を喚起するため、「G。T。トラベル」の再開に合わせた施策を展開する。

2 事業内容 **交流人口の回復と観光消費の拡大**  
旅行会社が、「G。T。トラベル」の「交通付き旅行商品」を造成・販売する場合に、上限額の範囲で助成を行う。

(1) 内容：

○ 「交通付き旅行商品」造成支援

- ・ 県内の宿泊を伴う「G。T。トラベル」の「交通付き旅行商品」に対して、1旅行1人あたり5,000円を上限に上乗せ助成する。

※ 「交通付き旅行商品」

航空機、鉄道、バス等の交通機関の料金が含まれていること

- ・ 「G。T。トラベル」再開後から、国の方針に合わせて終期を設定

担当：観光政策課

## 宿泊施設の投資促進



【令和4年度当初予算額 10,000千円】

【令和5～12年度債務負担行為設定額 500,000千円】

1 目的 宿泊者数や観光消費額の拡大を図るため、宿泊施設の新増設への投資を促進し、宿泊のキャパシティ拡大及び地域経済の活性化につなげる。

### 2 事業内容 (1) 宿泊施設投資促進事業補助金

宿泊施設の新増設事業に係る経費支援

○大型宿泊施設（投下固定資産額10%以内 上限5億円）  
新規客室数100室以上又は収容人数300人以上、平均客室面積20㎡以上

○滞在型リゾート宿泊施設（投下固定資産額5%以内 上限2億円）  
新規客室数30室以上かつ収容人数100人以上、平均客室面積20㎡以上  
40㎡以上の豪華客室1室以上

〈令和4年度 県内事業者宿泊施設 対象〉

⑨新宿泊主体型宿泊施設（※）（投下固定資産額5%以内 上限1億円）  
新規客室数50室以上又は収容人数100人以上、平均客室面積15㎡以上  
40㎡以上の豪華客室1室以上

（※）個人、カップル・夫婦、家族など様々な宿泊ニーズに対応する施設

### (2) 宿泊施設民間融資活用資金利子補給補助金 10,000千円

宿泊施設の新増設事業に係る金融機関からの整備資金借入金に対する利子補給

- ・対象：資金調達額20億円以内に係る利子
- ・限度：融資決定時の日本銀行が公表する長期プライムレート相当額
- ・期間：最大3年間

担当：観光政策課

## 伴走支援型経営改善推進費補助金



【令和3年度2月補正額 260,000千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症により業績が悪化している中小企業の早期経営改善を促すため、県の補助により保証料をゼロとしている融資制度「伴走支援型経営改善資金」を引き続き実施することにより、県内中小企業の事業継続と経営の安定を図る。

### 2 事業内容 伴走支援型経営改善資金

国の信用保証制度「伴走支援型特別保証制度」を活用した、中小企業向け融資制度「伴走支援型経営改善資金」を引き続き実施するとともに、保証料を補助することにより、企業の負担する保証料をゼロとする。



「中小企業向け融資制度」

【対象者】：次の①～③を全て満たす事業者  
①売上高減少率が15%以上であること  
②経営行動計画書を作成し、金融機関の継続的な伴走支援を受けること  
③本資金の創設から令和5年3月31日までに融資実行が行われること

【保証料率】：0%（通常0.2%のところ、県の補助により0%）  
※セーフティネット保証4号・5号の認定を受けている場合

【融資額】：6,000万円以内

【融資利率】：年1.60%以内

【融資期間】：10年以内（据置5年以内）

担当：企業支援課

# 中小企業者等への円滑な「資金繰り」支援



【令和4年度当初予算額 26,022,742千円】

1 目的 コロナ禍における中小企業者等の事業継続や経営の安定を図るとともに、アフターコロナにおける成長を後押しするため、「中小企業向け融資制度」を通じた円滑な資金調達を支援する。

2 事業内容 **(1) 中小企業振興資金貸付金 GX 22,931,000千円**

「創業・起業」や新製品の開発など、中小企業者等の前向きな挑戦を後押しするきめ細やかな金融支援を行い、中小企業者等の事業継続と持続的発展を促進する。

①「GXビジネス促進資金」の創設  
脱炭素化やプラスチック資源循環などグリーン社会実現に寄与する新製品開発等のための設備投資と研究開発を支援する

- 【融資利率】：年1.50%以内
- 【保証料率】：年0.30%～1.15%
- 【融 資 額】：2億8千万円以内

- 「創業者無担保資金」の拡充  
融資限度額を2,000万円から3,500万円に引き上げ
- 「短期事業資金」への＜経済回復支援枠＞追加  
融資限度額を1,000万円から1,500万円に引き上げ



「中小企業向け融資制度」

**(2) 中小企業金融円滑化推進費 391,742千円**

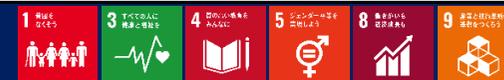
中小企業者等の信用力・担保力不足を補うための保証料負担を軽減するため、保証料引き下げ分への一部補助を行う。

**(3) 新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業 2,700,000千円**

「新型コロナウイルス感染症対応資金」の利子補給を行う。

担当：企業支援課

# とくしま地域雇用再生プロジェクト



【令和4年度当初予算額 57,369千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい状況に直面している  
県内企業の雇用再生と経営基盤の強化を図るため、新たな事業展開への取組みや  
求職者のスキルアップによる再就職等を支援する。

## 2 事業内容

### (1) 事業主向け雇用拡大・確保支援

- 専門家個別相談・新規販路創出支援事業  
今後成長が見込まれる分野への業種転換や多角化に取り組む企業に対し、  
セミナーによる情報提供や、専門家派遣による伴走支援を行うとともに、  
企業の技術力や先進的な取組みをホームページで情報発信し、新規販路開拓を支援する。
- 人材確保支援事業  
企業が求める人材確保に向け、労務管理者や人事担当者への研修を行い、  
企業の採用力を強化する。

### (2) 求職者向け就職支援・人材育成

- コロナ離職者再就職支援事業  
新型コロナウイルス感染症の影響による離職者等の求職者に対し、  
キャリアコンサルタントによる相談支援に加え、オンラインによるスキルアップ研修や  
未経験分野への職場体験を実施するとともに、就職面接会を開催し、再就職を支援する。

担当：労働雇用戦略課、商工政策課、企業支援課、新未来産業課、観光政策課

# 新型コロナウイルス安定雇用促進支援事業



【令和4年度当初予算額 30,000千円】  
 【令和3年度2月補正額 21,000千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい雇用情勢にある非正規雇用労働者等の「雇用の安定化」を促進するため、幅広い世代を対象にした支援を実施する。

## 2 事業内容

### (1) 支援体制の構築

- 国・県の助成金制度等を周知する「セミナー」を実施するとともに、支援対象者とのマッチングを図るための「就職面接会」を開催する。
- 支援対象者と企業とのマッチングの円滑化を図り、県内企業における正社員雇用を促進するため、協力企業における「職場体験」を実施する。

### (2) 正社員化促進支援助成金（自社における正社員化）

非正規雇用労働者を正規雇用に変換させた企業に対し、国が支給する「キャリアアップ助成金」の2分の1相当額の上乗せ助成を行う。

▶支給額：非正規(有期)→正規	285,000円/人(中小企業)	*国570,000円/人
	213,750円/人(大企業)	*国427,500円/人
▶支給額：非正規(無期)→正規	142,500円/人(中小企業)	*国285,000円/人
	106,875円/人(大企業)	*国213,750円/人

### (3) 安定雇用促進支援助成金（自社以外からの雇い入れ）

自社以外から非正規雇用労働者や失業状態の方を正規で雇い入れ、定着を図る企業に対し助成を行う。

▶支給額：300,000円/人(中小企業)、250,000円/人(大企業)  
 ※就職氷河期世代の方については、別途国助成金による支援あり。

(国600,000円/人(中小企業)、国500,000円/人(大企業))



「正社員化促進支援助成金」  
ホームページ



「安定雇用促進支援助成金」  
ホームページ

担当：労働雇用戦略課

# 新型コロナウイルス感染症対策（ワクチン接種体制の確保）



【令和4年度当初予算額 160,000千円】

**1 目的**            新型コロナウイルス感染症から県民を守るため、新型コロナワクチンの接種を希望する全ての者が円滑に接種できるよう、接種体制を確保するとともに、スマートフォンを活用したワクチン接種証明及び陰性証明の運用を引き続き行う。

**2 事業内容**            **(1) 新型コロナワクチンの接種体制の確保**            **140,000千円**

徳島県新型コロナワクチン  
専門相談コールセンター  
(県ホームページ)



- 新型コロナワクチンの接種を円滑に実施するための市町村支援や情報発信を行う。
  - ・ ワクチンの配送管理や広域調整などの市町村支援
  - ・ 県民が接種を検討する際に必要となる科学的な根拠に基づく情報を動画等を活用して発信
- 接種後の副反応など、医学的知見が必要となる専門的な相談に24時間対応できるコールセンターを引き続き設置し、県民が安心して接種できる体制を確保・維持する。

**(2) 新型コロナワクチン接種・陰性証明のデジタル化**            **20,000千円**

新型コロナワクチン接種・陰性証明アプリ  
「Light PASS」



Android版



iOS版

- ワクチン接種証明や陰性証明を県民が気軽に活用できるよう、スマートフォンで提示できるアプリの運用を引き続き行う。
- アプリを用いたワクチン接種証明や陰性証明を積極的に活用する事業者のクーポンや店舗情報をアプリ上で表示する運用の拡充を図り、コロナによって影響を受けている事業者の支援につなげる。

担当：ワクチン・入院調整課

# 新型コロナウイルス感染症対策（相談・検査体制の確保）



【令和4年度当初予算額 1,817,426千円】

- 1 目的 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、感染の不安を抱える県民からの相談に応え、検査につなげるとともに、感染を早期に探知し、封じ込めるための検査体制を確保する。  
また、妊産婦への支援として、不安を抱える妊婦への「分娩前のPCR検査」及び感染が確認された妊婦に対する「フォローアップ」を行う。

## 2 事業内容



徳島県LINE公式アカウント  
「徳島県-新型コロナ対策  
パーソナルサポート」

### （1）相談体制の確保 255,272千円

- スムーズな検査の実施と、県民の不安解消のため、24時間体制の「受診・相談センター」及び「一般相談窓口」を運営するとともに、LINE等を活用し、正確かつ迅速な情報発信を行う。

### （2）検査体制の確保 1,556,354千円

- 保健製薬環境センターや診療・検査協力医療機関等において迅速にPCR検査を行う体制を確保し、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図る。
- 保健製薬環境センターが行う「次世代シーケンサー」による「ゲノム（全遺伝情報）解析」の運用体制を確保し、変異株の早期探知と封じ込めを図る。

### （3）妊産婦の新型コロナウイルス対策支援 5,800千円

- 分娩時における妊婦の新型コロナウイルス感染に対する不安を解消するため、かかりつけ産科婦人科医と相談のうえ実施する、分娩前のPCR検査費用を補助する。  
【補助率】：10／10
- 新型コロナウイルスに感染した妊産婦の不安や孤立感を解消するため、退院後、保健師・看護師による定期的な自宅への訪問や、電話相談による育児支援を行う。



新型コロナウイルス感染症の流行下における妊産婦総合対策事業  
(分娩前ウイルス検査/寄り添い型支援)

担当：健康づくり課、感染症対策課

## 新型コロナウイルス感染症対策（医療提供体制の確保）



【令和4年度当初予算額 19,912,885千円】

【令和3年度2月補正額 300,000千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症の感染拡大時においても、県民に必要な治療や療養支援を行うため、医療提供体制確保に係る各種施策を展開する。

2 事業内容 **（1）入院等の体制確保 15,382,006千円**

○ 入院を必要とする者について、まずは迅速に病床または病床を補完する施設に受け入れるとともに、確実に入院につなげるための体制を確保する。

- ・ 入院受入医療機関等に対する「病床確保料」の補助の実施
- ・ 感染拡大時において、入院待機者を一時的に受け入れ、医師・看護師常駐の下、酸素投与等の処置を行う「臨時医療施設」の運営

**（2）宿泊療養者、自宅健康観察者への対応 3,025,346千円**

○ 治療が必要な者に対し、早期に適切な治療を行い、重症化する者を最小限に抑制するため、宿泊療養施設の継続的な運営をはじめ、適切な療養環境を確保する。

- ・ ホテル借上げやリタイアインフラの活用による宿泊療養施設の確保・運営
- ・ 自宅健康観察者に対する電話診療・オンライン診療等の実施

**（3）医療機器、消耗品の整備等支援 1,505,533千円**

○ 入院受入や救急・周産期・小児医療を担う医療機関の新型コロナ対応や、休業又は診療縮小となった医療機関の診療再開に必要となる機器、消耗品の整備等を支援する。

**（4）感染症に対応する医療従事者への支援 300,000千円**

○ 新型コロナウイルス感染症患者等の診療、看護に直接従事した医療従事者に対し、各医療機関から支払われる「特殊勤務手当(危険手当)相当分」の補助を行う。

担当：医療政策課、健康づくり課、ワクチン・入院調整課

## 新 福祉・看護職員等賃金改善事業



【令和4年度当初予算額 1,736,340千円】

【令和3年度2月補正額 23,000千円】

1 目 的 働く人や、これまで成長の恩恵を受けられていない方々への分配機能を強化し、「成長と分配の好循環」の実現を図るため、介護、障がい福祉、児童養護、看護等の公的部門において、職員の収入引上げに係る取組みを支援する。

2 事業内容 **福祉・看護職員等賃金改善事業** 1,759,340千円

○ 介護・障がい福祉施設、児童養護施設、医療機関等が、作成した計画に基づき、主として「基本給又は決まって毎月支払われる手当の引上げ」により、勤務する職員の賃金改善を実施する場合に、必要となる経費を補助する。

【補助率】：10／10

【賃金改善の対象者】：

- ① 介護職員  
介護職員処遇改善加算Ⅰ～Ⅲのいずれかを算定する介護サービス事業所又は介護保険施設に勤務する職員
- ② 障がい福祉職員  
福祉・介護処遇改善加算Ⅰ～Ⅲのいずれかを算定する障がい福祉サービス施設・事業所等に勤務する職員
- ③ 児童養護施設等職員  
児童養護施設、乳児院、児童自立生活援助事業を行う事業所等に勤務する職員
- ④ 看護職員等  
一定の救急医療を担う医療機関に勤務する看護職員及び理学療法士等、医療サービスを患者に直接提供する職員（医師、歯科医師、薬剤師を除く）

担当：医療政策課、健康づくり課、長寿いきがい課、障がい福祉課、次世代育成・青少年課

# コロナに負けない！女性つながりサポート事業



【令和4年度当初予算額 15,000千円】

**1 目的** 新型コロナの影響が長期化する中、孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、NPOをはじめとする民間団体の知見や能力を活用したきめ細やかな支援を実施する。

**2 事業内容** (1) オンライン相談業務 4,830千円

SNSやWEB会議サービスを活用し、ピアサポーター（同じような立場や境遇、経験等を持つ人）や心理職によるオンライン相談を実施する。

(2) アウトリーチ支援業務 360千円

支援を必要とする方に、ピアサポーターがアウトリーチ（訪問支援）を行い、関係機関へ同行する等、よりスムーズに支援につなげる。

(3) 居場所づくり業務 1,440千円

地域の集会所等において、ピアサポーターによる相談スペースを設け、ミニ講座の実施や託児サービスの提供等と併せ、気軽に相談ができる居場所を提供する。

(4) ピアサポーター養成業務 1,000千円

上記業務を支援するピアサポーターを養成するための研修を実施する。

(5) 生理用品の提供等 7,370千円

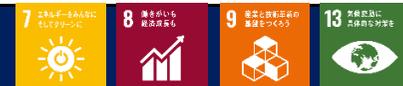
「生理の貧困」の状況にある方に、市町村や社会福祉協議会・学校・子ども食堂等を通して、生理用品の提供を行うとともに、相談窓口の周知により必要な支援につなげる。



つながり支援  
ピアサポートとくしま

担当：男女参画・人権課

# 戦略的企業誘致とGX投資の促進



【令和4年度当初予算額 1,472,900千円】

**1 目的** 企業ニーズや社会経済情勢に即応する全国トップレベルの補助制度と、優れた立地環境を活かし、大都市圏からの企業誘致や立地企業による工場等の新增設を促進するとともに、カーボンニュートラル実現に向け、立地企業のGX投資を支援する。

**2 事業内容** **(1) 戦略的企業誘致強化事業 21,900千円**

本県の強みを活かした戦略的な企業誘致を図るため、東京・大阪において「徳島ビジネスフォーラム」をリアルとオンラインによる「ハイブリッド型」で開催する。

**(2) 企業立地促進事業費補助金 GX 1,301,000千円**

企業立地優遇制度に、国が計画認定を行う「脱炭素化に資するGX投資」を支援するメニューを創設し、成長産業の集積や立地企業の持続的成長を促進する。

① 脱炭素化製品生産促進事業

温室効果ガス削減効果が大きく、新たな需要の拡大に寄与することが見込まれる製品の生産に必要な機械装置等の導入に要する経費の一部を補助

② 生産工程脱炭素化等促進事業

事業所等の生産工程における「脱炭素化」と「付加価値の向上」を両立する設備の導入に要する経費の一部を補助

両事業共通 【補助率】：投下固定資産の5% 【上限額】：2,500万円

**(3) 情報通信関連事業立地促進費補助金 150,000千円**

コールセンター等の情報通信関連事業の集積を図るため、事業所等の開設・運営に係る回線使用料や事業所賃料、人件費等の補助を行う。



「徳島県企業誘致ガイド」

## 中小企業の海外展開を通じた地域経済の活性化



【令和4年度当初予算額 89,578千円】

- |   |   |
|---|---|
| 1 | <p><b>目的</b></p> <p>経済連携協定（TPP11・RCEP等）により拡大するグローバル市場を獲得するため、県内中小企業の戦略的な海外展開を支援し、本県経済の持続的な成長を実現する。</p>  |
| 2 | <p><b>事業内容</b></p> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>(1) 新循環経済とくしま・グリーンイノベーション事業 <span style="float: right;">GX 20,000千円</span></b></p> </div> <p>持続可能な成長モデルとして市場拡大が期待される環境産業市場に向け、県内中小企業が有する優れた脱炭素・資源循環関連製品等の海外展開を支援する。<br/>○環境対策を重要政策として取り組む国（地域）との環境ビジネスマッチングを実施</p> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>(2) 新とくしま戦略的輸出拡大サポート事業 <span style="float: right;">20,000千円</span></b></p> </div> <p>貿易実務の専門知識と幅広いネットワークを有する地域商社や販売店と連携の下、海外ビジネスに直結するニーズと県産品のマッチングから商談までを伴走支援する。<br/>○海外輸出拡大サポート事業<br/>・欧州、豪州などブルー・オーシャン市場に向けた商流ネットワークを構築する。<br/>○「多言語・4K・デジタルカタログ」事業<br/>・魅力ある県産品の機能や特徴を高精細デジタルカタログ（多言語）で制作し、新規顧客へのPRや営業、商談会の販促ツールに活用する。</p> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>(3) ものづくり企業海外展開支援事業 <span style="float: right;">3,740千円</span></b></p> </div> <p>四国の機械金属企業が結集し、堅調な経済成長が見込まれる東南アジアで開催される国際機械見本市に共同出展し、四国の優れた「機械金属製品」の輸出拡大を加速する。<br/>○世界中から注目が集まる国際見本市でのビジネスマッチングを実施</p> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;"> <p><b>(4) とくしま海外展開支援プラットフォーム事業 <span style="float: right;">45,838千円</span></b></p> </div> <p>ジェトロ徳島、金融機関、地域商社や上海事務所等で構成する「とくしま海外展開支援プラットフォーム」を運営し、海外市場のニーズ調査から商談等に要する通訳、契約締結、通関手続などの貿易実務をワンストップで支援する。</p> |

担当：商工政策課

# ものづくり企業GX・DXの導入促進



【令和4年度当初予算額 31,500千円】

1 目的  ものづくり企業の「将来の成長」「競争力の強化」を図るため、「グリーン・テクノロジー」や「AI・5G」など先端技術の活用により、「生産性の向上」や「新製品・サービスの開発」を加速し、「環境と経済の好循環」及び「ビジネスモデルの変革」を実現する。

2 事業内容 **(1) (新) ものづくり企業GX推進事業** **GX** 15,500千円

- 「ものづくり企業GX推進コンソーシアム（仮称）」の創設
  - ・ 「GXフォーラム」の開催、異業種交流等により会員企業の連携基盤を構築
- 企業のオープンイノベーション促進
  - ・ 企業間マッチング等を推進し、開放特許等の外部リソース活用を促進
- 「新素材活用製品」の研究開発
  - ・ 高等教育機関、企業、工業技術センターが連携し、CNFやバイオプラスチック等を活用した製品の研究開発を実施
- GX製品等販路拡大支援
  - ・ 大規模展示会へ県ブースを設置し、県内GX関連製品の販路開拓を支援

**(2) (新) ものづくり企業DX加速化事業** **DX** 16,000千円

- 「とくしまDX推進センター」によるサポート機能の強化
  - ・ DX導入の核となる人材を育成する研修プログラムや情報発信サイトの充実
  - ・ 「専任コーディネーター」の配置による円滑なDX導入の推進
- 「スマートものづくり技術」の研究開発
  - ・ 企業、工業技術センター、とくしまDX推進センターが連携し、「ローカル5G」や「AI」などの先端技術を活用した研究開発を実施

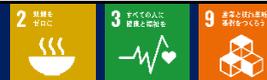


とくしまDX推進センターHP

※ 企業の設備投資や製品開発への支援は、県の融資制度やとくしま経済飛躍ファンド等を活用

担当：新未来産業課、工業技術センター

# とくしま「健幸」イノベーションの推進



【令和4年度当初予算額 55,700千円】

1 目的 「県民の健康増進」及び「県内産業の振興」を図るため、本県の重要課題である糖尿病の克服に向けた研究開発を推進するとともに、研究成果を活用したイノベーションの創出を促進する。

2 事業内容 **(1) とくしま「健幸」イノベーション創出促進事業** 50,200千円

糖尿病の「発症に影響する要因の特定」や「重症化の抑制」を目指し、千人超規模の疫学調査をはじめとする糖尿病に関する研究開発を推進するとともに、産学官で構成する「とくしま健康寿命延伸産業創出プラットフォーム」を基盤とし、研究成果の事業化に向け、情報発信や企業間マッチングなどを実施する。

**(2) (新) 持続可能な社会をつくる「食・ツーリズム」イノベーション創出事業** **GX** 5,500千円

糖尿病研究成果等を活用した「新たな食・ツーリズムの創出」を促進する。

- 「機能性食品」の事業化に向けた共同開発
  - ・「機能性・味成分・品質の向上」に関する県内事業者との研究開発に取り組み、スダチや阿波晩茶などの県産農林水産物を活用した、徳島ならではの付加価値の高い「機能性食品」の事業化を支援する。
- 「食・ツーリズム」イノベーション創出支援
  - ・「食品の機能性」や「ユズの加工残渣」などを活用した新商品開発や、健康要素を取り入れたツアーコンテンツ作成などの取組みを支援する。
- 販路開拓支援
  - ・ヘルスケア分野における本県の強みを取りまとめ、展示会やホームページを活用した情報発信によるブランディングを行う。

担当：新未来産業課、工業技術センター

GX

**新**「転職なき移住」をリード！「サステナブルワークスタイル」の創出



【令和4年度当初予算額 19,500千円】

【令和3年度2月補正額 13,500千円】

**1 目的** 「アワーケーション」や「複業人材」という「転職なき移住」により、「新たな人の流れ」づくりを加速化するため、都市部人材を地域に結びつけ、「持続可能性の高い地域づくり」へとつなげる「サステナブルワークスタイル」を徳島から創出する。

**2 事業内容** (1) **新**アワーケーション拡大強化プロジェクト 23,000千円



アワーケーション紹介動画

- アワーケーションのブランド化を一層推進し、地域課題の解決を促進。
- ① 誘致ターゲットを、「若者」や「ファミリー」など「個人」へと拡大
  - ② 「SDGs」や「脱炭素化」などの先駆的取組みを、戦略的に魅力発信
  - ③ 「社会貢献活動」や「二拠点居住」など多様な「ライフスタイル」に対応したプランを創出

(2) **新**複業人材活用進化展開プロジェクト 10,000千円

- 持続可能な社会実現のため、「都市部人材」と「地域」が互いに補い合う、徳島ならではの「複業人材活用の先進モデル」を全県展開！
- ① 人材と地域を繋ぐ「複業コーディネート機能」を東部・南部・西部エリアに整備
  - ② エリアに深掘りした「複業マッチング」を展開し、人材のスキル活用を定着
  - ③ 人材が活躍できる「地域活動・課題」を集約し、人材と地域がいつでも、どこでも、「関係を深める体制」を構築

担当：とくしまぐらし応援課

## マーケットインの発想で雄飛！農林水産物等輸出の加速化



【令和4年度当初予算額 220,090千円】  
 【令和3年度2月補正額 3,000千円】

- |   |   |
|---|---|
| 1 | <p>目的</p> <p>順調に拡大している農林水産物等の輸出分野において、「令和6年度 輸出金額24億円」という本県の「戦略目標」を達成するため、県内の関係者との連携を強化し、マーケットインの視点に基づいた「5本の柱」の取組みを推進する。</p>  |
| 2 | <p>事業内容</p> <p><b>(1) 販売ルートを「より太い幹」へ！ 23,060千円</b><br/>             「アフターコロナ」を見据え、SNSを利用したライブ配信による販売形態など販売チャネルの多様化への対応や、東・東南アジア等での外食産業におけるリバウンド消費を獲得するなど、マーケットインの発想で輸出品目に応じたビジネス展開を図る。<br/>             ・とくしまブランド海外プロモーション事業 等</p> <p><b>(2) 「新たな市場」にチャレンジ！ 16,430千円</b><br/>             越境ECサイトを活用した香港向け「すだち」の販路開拓、日本食市場の拡大が続くEUでの更なる販路開拓、イスラム圏におけるハラール需要の獲得など新市場へチャレンジする。<br/>             ・徳島マーケット・イノベーション推進事業 等</p> <p><b>(3) 「物流上の技術的課題」の解決！ 1,000千円</b><br/>             EU向け「なると金時」の鮮度保持技術の確立等、輸出拡大の障壁となっている、物流面の課題解決を図り、「新たな物流ルートの構築」に取り組む。<br/>             ・徳島県産海外コールドチェーン構築事業</p> <p><b>(4) 海外市場の開拓に取り組む「多様な主体」を育む！ GX 11,000千円</b><br/>             海外展開を目指す意欲ある生産者・事業者や、大ロットで取組むJA等の生産者団体に対し、国際規格認証の取得や、海外現地の店頭等での販売促進までの実践的な取組みを支援する。<br/>             (新) 生産現場における国際規格認証取得支援事業 等</p> <p><b>(5) 相手国の輸入規制に対応する「輸出型園地」の育成！ 171,600千円</b><br/>             海外市場が求める「品質・価格・ロット」での生産や、輸出先国における「植物検疫」、「残留農薬」等の規制に対応できる「輸出型園地」の育成や、HACCP等の認証取得に必要な施設や機器の整備を支援する。<br/>             (新) マーケットインに基づいた輸出産地の育成事業 等</p> |

担当：もうかるブランド推進課

**GX**

# 未来へつなぐ！農林水産業「担い手対策」の新展開



【令和4年度当初予算額 791,025千円】  
 【令和3年度2月補正額 85,000千円】

- 1 目的 未来の農林水産業の人材確保に向け、アカデミーを核とした意欲ある人材の育成、新規就業者への支援の充実、交流を通じた多様な人材の確保など、担い手対策の強化を図る。
- 2 事業内容
- (1) 「とくしま農林水産未来人材スクール」を核とした人材育成の強化 234,050千円**  
 「とくしま農林水産未来人材スクール」を司令塔に、「農・林・水」各アカデミーにおいてARやVRをはじめとしたスマート機器を活用するなど、研修内容の充実を図り、人材育成を強化する。
- ・アグリビジネスアカデミー運営費
  - ⑨とくしま林業アカデミープラス人材育成強化事業
  - ・とくしま漁業アカデミー活性化支援事業 等
- (2) ニーズに即応した就業支援とリカレント教育の充実 633,975千円**  
 農業人材の育成と確保に向け、研修や経営開始、雇用就農等の促進のための資金の支援、林業の素材生産に必要となる技術の段階的な習得、就業まもない漁業者の独立促進のための初期費用助成など、各分野のニーズに応じた支援とリカレント教育を展開する。
- ⑨新規就農者育成総合対策事業
  - ・とくしま林業リカレント支援事業
  - ・人づくり革命・漁業リカレント事業
- (3) 新たな魅力発信と交流が生み出す「多様な担い手」の確保 8,000千円**  
 アクティブシニア等の「多様な担い手」を確保するために、農林水産業の体験バスツアーによる魅力発信や、誰でも簡単に参加できる「農作業シェアリングシステム」の構築により、農業関係人口の拡大による多様な労働力や担い手の確保に取り組む。
- ⑨「農作業シェア」で健康増進！労働力支援モデル創出事業



とくしま農林水産  
未来人材スクール

担当：スマート林業課、水産振興課、経営推進課

# 未来を切り拓く農林漁業者を応援！「農林水産業未来創造基金」



【令和4年度当初予算額 500,000千円】

**1 目的** 経済グローバル化の進展に的確に対応し、本県農林水産業の持続的発展と農山漁村の活力創出を図るため創設した「農林水産業未来創造基金」への継続的な積み増しを行うとともに、基金を最大限活用し、成長産業化に向け、地域が主体となって取り組む「攻め」と「守り」の対策を積極的に後押しする。

## 2 事業内容 **農山漁村未来創造事業**

**【企画提案型】** 地域の創意工夫あふれる優れた取組みをハード・ソフト両面から支援（最長3年）  
（1/2以内、上限20,000千円）

特に、「DX」「GX」「人材活躍・とくしま回帰」「輸出拡大」に資する事業については、「重点支援対象」として上限を25,000千円に引き上げ

### ① とくしま農地集積加速化事業

#### 【農地集積加速型】

- ・ 優良な農地の「貸し手」に対する支援 （定額（10千円/10a））
- ・ 条件不利農地の「借り手」に対する支援 （定額（10千円/10a））
- ・ 規模拡大に必要な機械整備を支援 （3/10以内等、上限4,000千円等）
- ・ 新規就農者等による「お試し耕作」を支援 （定額（10/10以内））

○遊休農地解消緊急対策事業 4,500千円（国10/10）※別計上

- ・ 「遊休農地」再生の取組みを支援 （定額（43千円/10a））

**【政策推進型】** 農林水産基本計画に沿った地域の取組みを支援  
（3/10以内、上限10,000千円）

**【防疫対応型】** 緊急の家畜防疫対策を支援 （3/10以内、上限10,000千円）

担当：農林水産政策課



【令和4年度当初予算額 21,268千円】

【令和3年度2月補正額 20,000千円】

**1 目的** 「2025年大阪・関西万博」において、最大の効果を上げるため、  
 挙県一致体制で「徳島ならではの」「万博基本計画」を策定するとともに、  
 「バーチャルパビリオン」を活用した先行的な情報発信や機運醸成を図り、  
 国内外から徳島へ「人の流れを創出」する仕掛けづくりを本格的に展開する。

**2 事業内容**

**(1) 「とくしま万博基本計画（仮称）」の策定**

- 徳島ブースの展示内容を「リアル」と「バーチャル」両面から検討するとともに、  
 万博開催に向けた情報発信と万博開催期間を通じたレガシー創出を一体的に捉えた  
 「万博基本計画」を策定する。
- 関西広域連合と連携し、パビリオンの整備に向けた企画・検討を行う。

**(2) バーチャルパビリオンによる先行的な情報発信**

- インターネット上の仮想空間に「バーチャルパビリオン」を構築し、  
 徳島が誇る未来志向の取組みや、歴史に育まれた文化や食など、  
 本県の魅力を先行的に全世界に発信する。

**(3) 機運醸成イベントの開催**

- 大阪・関西万博に向けた県内外の機運醸成を図るため、  
 万博関連のイベントを開催するとともに、日本国際博覧会協会と連携し、  
 多様な主体による未来社会実現のための取組みを促進する。



2025年大阪・関西万博  
 TEAM EXPO 2025  
 (日本国際博覧会協会)

【令和3年度2月補正額 105,000千円】

**1 目的** インターネットを通じた旅行情報の収集や宿泊予約等が主流となりつつある現状を踏まえ、SNSやモバイルアプリ等を利用した「デジタルマーケティング」の手法を取り入れ、「観光コンテンツの創出」や「情報発信の強化」により、本県への旅行需要を喚起し、県内観光産業の着実な回復に繋げる。

**2 事業内容** **(1) デジタルマーケティング調査・分析** **55,000千円**

ネットユーザーの行動履歴を分析し、ニーズに応じたタイムリーな情報提供や効果的なプロモーションを展開する。

- デジタルチャンネル（阿波ナビ等の観光WEBサイト、各種SNS）から得られたユーザーの属性、興味等の情報をAIにより解析
- 調査・分析結果をもとに、ターゲットを絞った戦略的プロモーションを実施
- 検索サイト、SNSにおける「プッシュ型広告配信」や「サイト改修」を行うとともに、効果検証、改善を継続して実施

**(2) 「阿波ナビ」の情報発信機能の強化** **50,000千円**

県観光情報サイト「阿波ナビ」に新たな情報発信機能を実装・拡充することにより、ユーザーのニーズに応じたコンテンツを提供する。

＜実装・拡充例＞

- ・ 「おすすめ情報」表示機能
- ・ 周遊プラン自動作成機能
- ・ デジタル観光素材ダウンロード機能
- ・ 多言語対応店検索機能

【令和4年度当初予算額 18,000千円】

1 目 的 令和3年8月にグランドオープンした新生・博物館の県内外への知名度や来館者の満足度の向上を図るため、観覧環境の整備やコンテンツの拡充を進めるとともに、情報発信を強化する。

2 事業内容 (1) **新**「楽しく知る、学ぶ」展示の充実 8,000千円

館が所蔵する資料について、詳しい知識がなくても、まずは気楽に接し、楽しんでいただけるよう、VR技術等を活用し、展示の充実を図る。



博物館紹介動画

(2) **新** 来館者による情報発信の促進 1,500千円

来館者によるSNS等での情報発信を促進するため、常設展内の撮影スポットを増設する。

(3) **新** 海外客へのPR及び来館者の利便性の向上 3,500千円

海外からの来館者（団体ツアー）に対して、解説ツアー用のガイドマニュアル（シナリオ）を作成する。

(4) ウェブサイトリニューアル事業 2,000千円

県下の自然資源、文化資源の全貌を知るためのショーウィンドウとしての機能の強化を図るため、多言語化、読み上げ機能、閲覧機能の充実等、博物館ホームページのリニューアルを行う。

(5) **新** デジタルデータによる仮想博物館の構築 3,000千円

県内各館の資料や屋外の遺跡、文化遺産等を撮影したデジタルデータをオープンデータ化し、「仮想博物館」として公開することで、本県の優れた自然、歴史・文化を広く発信する。

担当：文化の森振興センター

1 目的 建設産業の飛躍的な「生産性向上」や新たな「担い手確保」に向け、インフラ分野における「DX」を強力に推進するとともに、着実に「人材育成」を進め、業界全体の健全な発展を図る。

2 事業内容 **(1) 新 インフラDX実装加速化** 10,000千円

- 「DX・i-Construction」の普及・拡大
  - ・ 「インフラDX推進協議会（産・学・官）」の設立
  - ・ 「ロードマップ」を策定し、トップセミナーや体験ツアーを開催
  - ・ 「ICTアドバイザー」を公募し、受注者とのマッチング
  - ・ 「CCUS（建設キャリアアップシステム）<sup>※1</sup>」の登録支援
- ※1 CCUS：業界統一のルールで技能者情報を蓄積  
技能者の能力や経験に応じた賃金の支払いや処遇改善に資するシステム
- 「新技術」の検証・実装
  - ・ 施設の巡視・点検や災害時の状況確認等に使用する「ドローン操作訓練」
  - ・ 「CIM（Construction Information Modeling）<sup>※2</sup>」を活用した試行業務
- ※2 CIM：三次元モデルによるインフラ施設の見える化
- ・ 建設現場の生産性を向上させる「新技術」の実証



「カッコイイ、  
希望の持てる、  
建設産業へ」

**(2) 建設産業の健全な発展** 5,000千円

- あらゆる世代を対象とした「キャリアアップ」支援
  - ・ 将来の担い手となる高校生のための「資格取得」
  - ・ 若手技術者のキャリアアップのための「資格取得」「技能向上」
  - ・ アクティブシニアや一人親方のための「安全」「健康」の確保
  - ・ 外国人労働者などの「多様な担い手」の受け入れ

1 目的 高齢者や児童など交通弱者の生活の足の確保、農産物の物流の確保及び観光地における観光客の移動手段の確保による地域活性化の推進を目的として、道の駅等を拠点とした自動運転サービスの導入を促進する。

2 事業内容 **⑨自動運転導入方針・計画の策定** 15,000千円

○道の駅等を拠点とした自動運転導入方針の策定

- ・ 車両特性、自動運転技術特性、導入実績を踏まえた技術動向を整理する。
- ・ 公共交通の空白地帯や中山間地域の地形特性を踏まえた活用ケースを整理する。
- ・ 地域固有の課題を解決する手段の一つとして、自動運転サービス実装に向けたロードマップを作成する。

○市町村との連携

- ・ 実証実験の方向性や事業スキームなどを整理し、市町村における自動運転導入の参考となるマニュアルを策定する。
- ・ 自治体職員や地域住民などが自動運転への理解を深め、導入に向けた社会環境を醸成するためのワークショップを開催する。

○モデル地域の選定と自動運転導入計画案の作成

- ・ 導入方針に基づき、自動運転導入の可能性があるモデル地域を選定する。
- ・ 市町村における導入促進に向け、モデル地域において、導入車両・エリア・ルート・サービス内容などを盛り込んだ導入計画案を作成する。

【令和4年度当初予算額 12,800千円】

1 目的 アフターコロナに向けて、社会全体のデジタル化がさらに加速する中、本県において、誰一人取り残さない「人に寄り添うデジタル社会」を実現するため、産学官連携の人材育成拠点である「とくしまデジタル人材育成プラットフォーム」において「デジタル支援員の育成」と「人材バンクへの登録」を行い、地域や企業、学校におけるデジタル活用を支援する。

2 事業内容 (1) 「とくしまデジタル支援員」の育成 7,800千円

(公財) e-とくしま推進財団と連携して、社会人や大学生、地域住民を対象に、今後ますます拡大するデジタル化のニーズに対応できる多様なスキルを持つ「とくしまデジタル支援員」を育成し、「とくしまデジタル人材バンク」に登録する。



e-とくしま推進財団HP  
(人材育成講座)

(2) ① 講習会の開催、デジタル支援員の派遣 5,000千円

市町村と連携して、高齢者をはじめICT機器に不慣れな方などをサポートする「地域密着型の講習会」を開催するとともに、中小企業等にアドバイザーを派遣し、「事業者のデジタルトランスフォーメーション」を支援する。

また、小中学校にデジタル支援員を派遣し、教職員及び児童生徒の「ICTに係る日常的なサポート」を行い、市町村におけるGIGAスクール構想の推進を図る。

1 目的 国が掲げる「デジタル田園都市国家構想」を本県において具現化するため、全国を先導する「ローカル5G環境」の構築をさらに加速するとともに、ローカル5Gを活用し、様々な地域課題の解決を図る。

2 事業内容 (1) **① 「ローカル」×「キャリア」 5Gインフラシェアリングの導入 27,500千円**

災害時における情報収集能力の向上と通信ネットワークの強化を図るため、災害対策の拠点となる県庁舎に「ローカル5G基地局」を設置する。

同時に、携帯電話会社の「キャリア5G」とアンテナ等の設備を共有する全国初の「インフラシェアリング」を導入し、地方における5Gエリアの拡大を牽引する。

(2) **ローカル5Gネットワーク運営 110,613千円**

防災、医療、農業等の様々な地域課題を解決するツールとなるローカル5Gネットワークを適切に運用するとともに、ローカル5G活用の更なる研究・開発を進め、「徳島モデル」の実装を横展開する。



徳島5G革命

1 目的 働きやすい職場づくりを進め、労働力の確保・定着を図るため、県内企業におけるテレワークの導入や各種業務のデジタル化（＝「スマートワーク」）の推進を支援する。

2 事業内容 **(1) 進化する「テレワークセンター徳島」を拠点とした支援**  
ICTの活用や就労支援機関等との連携強化により、県内企業の働き方改革を加速させる。

- 県内企業への「スマートワーク」導入支援
  - ・ 「スマートワークアドバイザー（仮称）」によるアウトリーチ型支援（出張相談・出前講座など）の強化
  - ・ 新たに設置する「スマートワーク支援サイト」によるICTツールの情報提供とオンラインによる技術支援の実施
  - ・ 「テレワークサポーターズ企業」によるICTサービス・ノウハウの提供
- テレワーク人材の育成・マッチング
  - ・ テレワーカー養成のためのスキルアップ研修等の実施
  - ・ 養成したテレワーカーと県内企業とのマッチング支援



「テレワークセンター徳島」ホームページ



「はぐくみ支援企業」表彰企業の御紹介

**(2) 「テレワークdeはぐくみ支援表彰」の創設**  
「はぐくみ支援企業」において、テレワーク導入による子育てに優しい職場環境づくりを促進するため、新たな表彰制度を創設する。

# サテライトオフィスの誘致・定着支援の強化



【令和4年度当初予算額 12,000千円】  
 【令和3年度2月補正額 16,000千円】

## 1 目的

コロナ禍を契機とした「新たな働き方」が加速する中、引き続き、サテライトオフィス開設において「選ばれる徳島」となるため、「サテライトオフィスコンシェルジュ」による「寄り添い型支援」を充実強化するとともに、オフィス開設費用支援や、先行進出企業等と連携したマッチングイベント等により、さらなる「人とビジネスの好循環」を創出し、活力ある地域社会の実現を図る。

## 2 事業内容

### (1) サステナブルワークスタイル推進事業 16,000千円

新たにDXやGXを推進する企業等を巻き込み、サテライトオフィス開設による地域活性化や地域課題の解決を促進するため、SDGsをリードする徳島ならではの働き方「サステナブルワークスタイル」を提案、サポートする。

#### ①誘致・定着支援 6,000千円

市町村や先行進出企業等と連携した県外（東京・大阪）マッチングイベント、地域での交流促進やビジネス創出のための県内マッチングイベントを実施。

#### ②拠点整備事業 10,000千円

サテライトオフィス開設にかかる備品購入費、旅費交通費などの経費を支援。  
 【補助率】：2/3 【上限額】：最大100万円

### (2) サテライトオフィス誘致促進事業 12,000千円

各圏域を熟知した「サテライトオフィスコンシェルジュ」の活用により、進出希望企業の視察・相談にきめ細やかに対応するとともに、新たに都市部複業人材とのマッチング支援と連携を図るなど、進出企業への細やかなフォローアップにより、地域への「定着支援」を強化する。



「サテライトオフィス&YOU」動画

1 目的 「アフターコロナ」を俯瞰した質の高い行政サービス創出に向け、「行政運営のデジタル化」を加速するとともに、DX時代の「新しい働き方」を実現する。

2 事業内容 (1) ① 県庁業務デジタル化推進事業 44,000千円

県庁業務におけるデジタル化が着実に進んでいる中で、個別システム間の連携や、一部に残存するアナログ業務などの、「各所属単体では発見・解決しにくい課題」を「見える化」とするとともに、「専門家の知見」を活用しながら、解決方法を策定し、県庁DXを加速する。

- ・ 部局横断型の庁内プロジェクトチームによる業務の課題検討・抽出
- ・ 経験豊富な外部のDX専門家に委託し、第三者の視点からDXによる改善で効果の高い業務を一覧化、ハード・ソフト両面からの「処方箋」を作成

⇒ DXによる利用者目線に立ったシステムの全体最適化や業務改善を実現し、さらなる「県庁業務の効率化」と「県民サービスの向上」を図る。

(2) ① 新次元のテレコミュニケーション 15,000千円

県庁のテレワークを推進する中で課題となっている、「コミュニケーション不足」を解消し、県庁版テレワークの定着を図るため、業務支援ツール「総合業務管理システム」のチャット機能強化及びスマホ用メッセージアプリ開発を行う。

**1 目的**            新型コロナウイルス感染症拡大防止に資するとともに、県民サービスの向上のため、道路台帳の閲覧や道路占用の申請をインターネットから行うことができるようにする。  
 災害発生等の緊急事態に対応するため、最新のデジタル技術を活用し、道路に関する情報を一元的に管理するとともに、道路利用者への迅速な情報伝達を行う。

**2 事業内容**            **(1) 新 デジタル道路台帳の整備** **17,500千円**

道路の施設情報を地図上で一元的に管理するとともに、インターネット上で情報公開することによって、「誰でも」「手軽に」「わかりやすく」閲覧可能とする。

**(2) 新 道路占用管理システムの構築** **71,500千円**

道路占用管理システムを新たに構築することにより、道路情報と占用物件の位置情報を連携させ、占用管理事務を効率化するとともに、インターネットから電子申請ができる窓口を開設する。

**(3) 新 道路情報板制御の迅速化改修** **111,000千円**

高速のモバイル通信網を利用して道路情報板を制御することにより、切替を迅速化し、道路利用者に対してタイムリーに情報を発信する。  
 さらに、道路情報板のリモート操作を可能とし、時と場所を選ばず、災害等緊急時の速やかな情報伝達を実現する。

# 未来につなげる広報広聴事業



【令和4年度当初予算額 162,480千円】  
 【令和3年度2月補正額 4,000千円】

## 1 目的

必要としている方にきめ細かく情報を届けるため、従来のオンライン媒体に加え、SNS等オンライン媒体を主軸の1つに位置づけ、時代に即した発信戦略を展開することで、誰もが、正確な県政情報をタイムリーに入手できる環境を整備する。

## 2 事業内容

### (1) ①新 メディアミックスを加速させる情報発信事業 DX 4,000千円

- ・ 県公式SNSとして新たにInstagram、LINEアカウントを開設するとともに「SNSアカウント分析」を併せて実施し、情報発信の効果を分析することで、県民のニーズに合わせた情報発信やアカウント運営、全庁的なフィードバックを行う。
- ・ 県民に「OUR発信スポット（仮称）」として、県主共催のイベントや事業、施設、魅力等をSNSで発信いただくとともに、スポットの活動レポートをオンライン媒体（広報紙、新聞等）に掲載する。
- ・ また、県民による「スポット」と県若手職員による「情報発信WG」を対象に、写真・動画撮影やSNS活用、地域の魅力発信に関する研修等を行う。

⇒ 県広報に「SNS分析」と「県民目線」を取り入れることで、効果的かつ丁寧な広報を展開し、県庁全体の発信力のレベルアップを図る。

### (2) ダイバーシティ対応型広報推進事業 9,516千円

県政情報を必要とする方へ適切に発信するため、記者会見への手話通訳者の配置や動画への日本語字幕掲載など、ダイバーシティ視点に立った情報発信を行う。

### (3) その他

新聞や広報紙等の紙媒体や、テレビ・ラジオ等、複数の媒体により広報を行うことで、様々な地域や年代、それぞれのターゲットに効果的に届く、戦略的な情報発信を行う。



県公式Twitterアカウント



知事記者会見動画



# ① 夢と希望あふれる未来に向けた「あわ文化」の創造と継承



【令和4年度当初予算額 129,000千円】  
 【令和3年度2月補正額 10,000千円】

1 目的

「2025年大阪・関西万博」の開催や「徳島文化芸術ホール（仮称）」の開館を見据え、県民が文化芸術を体感できる事業を県内各地で開催するなど、「あわ文化」の魅力を広く発信する。

2 事業内容

- (1) ① 放課後子ども文化体験プログラム事業 6,000千円  
 次世代を担う子どもたちが「あわ文化」に親しめる機会を創出
- (2) ① 「阿波人形浄瑠璃」魅力発信派遣事業 10,000千円 DX  
 「人形座」による国外での公演、「デジタル襖からくり」を活用した舞台演出
- (3) ① 「あわ三大音楽」連携創造事業 32,000千円  
 地域の文化芸術ホールと連携し、優れた演奏を堪能できる音楽公演を県内各地で開催
- (4) ① とくしま文化・未来創造事業 30,000千円  
 「あわ文化」による「まちづくり」を目指し、県民主体の文化芸術活動を支援  
 【補助率】：2／3                      【上限額】：最大1,000千円
- (5) 「吉野川・あわ文化」を巡る文化観光推進事業 34,500千円 DX  
 「文化観光拠点施設」磨き上げによる「あわ文化」の魅力発信及び文化観光の推進
- (6) 徳島県民文化祭開催事業 16,500千円  
 部門別文化団体と連携し、県民が優れた文化芸術に親しめる機会を創出
- (7) とくしま「eスポーツ」推進加速化事業 10,000千円 DX  
 eスポーツイベントの開催や発信による地域活性化とeスポーツの裾野拡大  
 【補助率】：2／3                      【上限額】：最大1,000千円

担当：文化・未来創造課

【令和4年度当初予算額 40,000千円】

- 1 目的 安全で快適な駐車場を実現するため、藍場町地下駐車場の設備更新にあたり、AI、IoTを導入することにより、利用者のサービス向上に繋げるとともに、維持・管理の省力化によるランニングコストの縮減を図る。

2 事業内容 **車番認識システムの導入** 40,000千円

入出場の際、カメラでナンバープレートを撮像・管理する車番認識システムを導入することで、ゲートレス・チケットレス・キャッシュレスの新たな駐車場スタイルを実現し、利便性の向上に加え、経費の節減を図る。

【車番認識システムの特徴】

- ・ゲートレス 出入口での車寄せ不要（スムーズな入出場）
- ・チケットレス 接触機会減少（新型コロナ対応）
- ・キャッシュレス クレジット・電子マネーに対応、スマホで精算可能
- ・経費の節減 メンテナンス、管理業務の省力化

## ⑧ 女性の健康にかかる包括的な支援



【令和4年度当初予算額 73,485千円】

1 目的 不妊治療の保険適用に伴い、予防的視点を含む生涯を通じた女性の健康支援に向け、個々のライフステージに応じた包括的な支援体制の構築を図る。

2 事業内容 (1) ⑧ Myライフプランニングサポート事業 17,100千円

将来子どもを持ちたいと考える全ての人の希望を叶えるため、様々な性・生殖に関する相談窓口の充実や情報発信、支援体制の充実など機能強化を図る。

- 女性健康相談窓口機能の充実を図るため、SNS相談窓口を構築し、24時間対応のAIによる相談・支援等を実施。あわせてプッシュ型の情報発信ツールとして活用
- より専門性の高い相談に対応するため、不妊専門相談センターに、出生前遺伝学検査（NIPT）や流産・死産に関するケアに対応するための相談員を配置
- 不妊症・不育症にかかる支援体制の充実のため、ピアサポーターの養成を行うほか、関係機関との情報共有・連携の場を設置し、支援ネットワークを構築
- 若者世代が将来の妊娠を考え、自身の健康に向き合う「プレコンセプションケア」を普及・推進するため、動画を作成し、教育現場と連携した啓発を実施

(2) こうのとりに応援事業 56,385千円

- 不妊治療による経済的負担を軽減するため、令和3年度に開始し医療保険が適用されない不妊治療（体外受精・顕微授精）に要した費用の一部を助成
- 流産や死産を繰り返す不育症の適切な治療や出産につなげるため、先進医療として実施される不育症検査費用の一部を助成

担当：健康づくり課

# 未来へつなぐ！保育現場サポートプロジェクト



【令和4年度当初予算額 36,370千円】

1 目 的 保育士の確保及び資質向上を図るため、指定保育士養成施設や民間事業者と連携し、就職支援や研修機会の確保のための環境づくりを行う。

2 事業内容 (1) **新** 保育士養成施設に対する就職促進支援事業 1,870千円  
指定保育士養成施設における、県内保育所等への就職促進につながる積極的かつ新たな取組みに対して支援を行う。  
【補助率】：10/10

(2) 保育士試験対策講座実施事業 3,000千円  
筆記及び実技試験に向けた保育士試験対策講座を実施することにより、合格率の向上を図り、県内保育所等への就職を促進する。

(3) とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業 31,500千円  
子育て支援ニーズや地域の実情に応じた県独自の交付金により、市町村における機動的かつ戦略的な子育て施策に対し支援を行う。



保育士・保育所支援センターHP  
(未来の保育士定着促進事業)

うち 未来の保育士定着促進事業  
指定保育士養成施設の学生に、「保育現場での経験」を積んでいただき、「保育施設への就職」を促すとともに、「保育士の負担軽減」を図る。

うち 保育士研修受講サポート事業  
民間保育所等の保育士が研修を受講する際、代替職員を雇用する経費に対し補助を行い、保育士の研修機会の確保及びスキルアップを図る。

【補助率】：1/2

担当：次世代育成・青少年課

# 新 ダイバーシティ実現！育休推進事業



【令和4年度当初予算額 2,150千円】

1 目的 改正「育児・介護休業法」が令和4年度から順次施行されることを好機と捉え、女性に比べ取得率の低い「男性育休」を促進するため、経営層をターゲットとした普及啓発事業を実施する。

## 2 事業内容

### (1) 事例集作成・情報発信

- 訪問等により県内企業から情報収集を行い、男性育休に特化した実践事例集を作成・配布するとともに、「はたらく女性応援ネット」をはじめ、ウェブサイトに掲載する等、情報発信を行う。

### (2) 相談窓口の周知・改正法セミナーの開催

- 「育児休業制度等相談窓口」について、様々な機会・媒体を捉え周知広報するとともに、労働者・事業主ともにスムーズに改正法への対応が可能となるよう、徳島労働局と連携したセミナーを開催する。



「育児休業制度等に関する  
相談窓口」ホームページ



「改正育児・介護休業法」  
等セミナーホームページ

#### ※育児・介護休業法の主な改正内容

- ・雇用環境整備、個別の周知・意向確認の措置の義務化（令和4年4月1日～）
- ・有期雇用労働者の育児・介護休業取得要件の緩和（令和4年4月1日～）
- ・産後パパ育休（出生時育休）の創設（令和4年10月1日～）
- ・育児休業の分割取得（令和4年10月1日～）
- ・育児休業取得状況の公表の義務化（令和5年4月1日～）

担当：労働雇用戦略課

# 令和4年度全国高校総体の推進と競技力向上関連事業



【令和4年度当初予算額 505,178千円】  
 【令和3年度2月補正額 34,351千円】

1 目的 令和4年夏に四国で24年ぶりに開催される全国高等学校総合体育大会において、総合開会式や各競技種目別大会を、開催市町、高体連等各種関係団体と一体となって運営するとともに、当該全国高校総体などにおいて上位入賞ができる運動部を育成するための強化事業を実施する。

2 事業内容 **(1) 令和4年度全国高等学校総合体育大会推進事業 519,529千円**

大会の幹事県として51年ぶりに総合開会式を実施するとともに、開催市町、各種関係団体と連携し、安全安心な大会運営を行う。

- ・あわ文化を取り入れた音楽やダンス等で構成する公開演技など、高校生による総合開会式の開催
- ・新型コロナの感染状況に応じた、高校生のための競技種目別大会の実施  
 ( 競技種目：陸上競技、バレーボール女子、サッカー、バドミントン、弓道、ホッケー  
 会 場 地：徳島市、鳴門市、阿南市、吉野川市、北島町、板野町 )
- ・一層の気運の醸成に向け、高校生一人ひとりが活躍する広報活動、おもてなし活動等の展開



**(2) NEO徳島トップスポーツ校強化事業 20,000千円**

指定校24校45部において、有力選手の「集中」を図るとともに、強化活動費と中学校との連携活動費の一部を助成することにより、全国高校総体などで上位入賞できる競技力の向上を目指す。

【補助率】：定額

担当：体育学校安全課

# 徳島文化芸術ホール(仮称)の整備



【令和4年度当初予算額 644,030千円】

**1 目的** 県民の文化活動の更なる促進や優れた文化芸術の鑑賞機会の提供、  
 県都の中心市街地活性化による県全域のにぎわい創出等を図り、  
 希望あふれる「徳島の未来」を創造するため、  
 徳島文化芸術ホール(仮称)の早期整備を図る。

**2 事業内容** **(1) 新ホール整備事業** 624,900千円



「県市協調新ホール整備基本計画」(令和3年3月策定)に基づき、  
 大ホール、小ホール、多目的スタジオ、活動室等で構成する  
 新たな文化芸術創造発信拠点を整備するため、  
 基本設計及び実施設計を行う。

awa アワー project  
 (徳島文化芸術ホール  
 (仮称) 整備事業)

**(2) 徳島文化芸術ホール(仮称) 管理運営等検討事業** 19,130千円

「徳島文化芸術ホール(仮称)」の開館に向け、  
 施設の管理運営の方向性を示すため、  
 「事業展開」、「施設管理」、「運営体制」等をまとめた  
 管理運営基本計画の作成等に向けた検討を専門的見地を交えて行う。

# ⑨ DMVスタートダッシュ応援事業



【令和4年度当初予算額 194,700千円】

1 目的 DMV運行のスタートダッシュを応援し、導入効果を最大限に活用することで、阿佐東線の利用促進による阿佐海岸鉄道の経営改善を図るとともに、地域交通ネットワークの維持のための取組みを推進する。

## 2 事業内容 (1) ⑨ DMV阿佐東線モード・チェンジ事業 10,000千円

阿佐海岸鉄道におけるDMVを活用した地元地域の「稼ぎ」に繋がる取組みを支援し、地域へもたらすDMV導入効果の最大化を図る。



「世界初！  
DMV本格営業運行開始」

- 行政や企業等からの見学要望のパッケージ化による視察ビジネス体系の構築
- あさてつファンクラブ限定企画の展開による魅力度アップ
- DMVとJR牟岐線の連携強化による利用促進

## (2) DMVの安定的な運行 184,700千円

県南地域を支える足である阿佐東線の維持を図るため、阿佐海岸鉄道の更なる経営努力を前提として、沿線自治体との協働の下、同鉄道の経営を支援する基金の積立を行う。

# ① 新たな時代の「スポーツツーリズム」の創造



【令和4年度当初予算額 49,600千円】  
 【令和3年度2月補正額 2,500千円】

## 1 目的

スポーツツーリズムによりアフターコロナの交流人口拡大と地域活性化を図るため、本県のスポーツ・観光資源を活用した大会、合宿誘致を積極的に行うとともに、再延期された世界最大の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ関西」の成功に向け、スポーツレガシーの継承と発展に取り組む。

## 2 事業内容

### ① 新たなスポーツ大会・合宿スタイル発信事業 40,100千円



徳島県スポーツ  
コミッションHP

「徳島県スポーツコミッション」を核としたスポーツツーリズムを推進するため、県内のスポーツ施設、観光情報を専用ホームページにおいて動画で発信するとともに、スポーツ大会・合宿誘致を推進し、本県競技団体とのハイレベル交流やアクティビティ体験の実施により、本県スポーツブランドの更なる向上を図る。

### ② ワールドマスターズゲームズ関西レガシー先行事業 12,000千円



WMG2021関西  
徳島県実行委員会HP

本番大会に先駆け各競技会を開催することで、機運の維持及び大会ノウハウの継承につなげる。  
 先行大会の開催においては、新型コロナウイルス感染症対策として、スマートフォン等を活用したオンライン上の競技運営管理を行うことで、選手やスタッフ、ボランティア等大会関係者の安全確保と感染拡大防止に努める。

担当：スポーツ振興課スポーツツーリズム推進室

【令和4年度当初予算額 47,400千円】  
 【令和3年度2月補正額 20,000千円】

1 目的

「2050年カーボンニュートラル」実現に極めて重要な2030年度の目標「温室効果ガス50%削減」及び「自然エネルギー電力自給率50%超」の達成に向け、家庭や事業所、市町村などにおける「自然エネルギー」の導入加速を図る。

2 事業内容

(1) ゼロカーボンシティ推進事業 28,000千円

長期にわたる省エネ・創エネ効果が期待できる建物のゼロエネルギー化推進のため、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）及びネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）の建築等に対し、国と連携して補助を行う。  
 また、エネルギーの地産地消による地域の脱炭素化と防災力の向上を図るため、「先進的な電力需給調整システム」の導入調査や、豊かな水資源を活かした「小水力発電」の整備など、自然エネルギー導入の取組みを支援する。  
 ・ZEH補助金 住宅整備等【上限額】：100千円～最大400千円 など

(2) ① 太陽光発電等の率先導入及び民間への普及促進事業 19,400千円

系統制約や土地造成の課題が少なく、リードタイムの短い、屋根置き自家消費型太陽光発電等の導入を加速する取組みを展開する。  
 ・PPA等を活用した、太陽光発電設備の「県有施設への率先導入」の実施  
 ・PPA事業者を県が認定・登録し、情報発信する「PPA事業者登録制度」の創設  
 ・一括発注により価格低減を促す「共同購入」の実施

(3) ① 促進区域に係る環境配慮基準策定事業 20,000千円

改正・温対法に基づき市町村が行う「促進区域」設定のため、「環境保全」や「土地利用」を考慮した県の「環境配慮基準」を策定する。



徳島県版・脱炭素ロードマップ

# 大規模災害を見据えた「事前復興」の加速



【令和4年度当初予算額 10,000千円】  
 【令和3年度2月補正額 15,000千円】

1 目的 切迫する「南海トラフ巨大地震」をはじめとする大規模災害を見据えた「分散型国土」を創出するため、防災・減災対策に加え「事前復興」の取組みを加速する。

2 事業内容 (1) **新** 事前復興・地域マイクログリッド融合事業 **GX** 5,000千円

○災害時の自立的な電源確保に繋がる「地域マイクログリッド」の視点を取り入れた「事前復興まちづくり」の推進に取り組む住民・事業者を支援する。  
 【補助率】：1/2 【上限額】：最大1,000千円



事前復興動画

(2) 事前復興啓発事業 5,000千円

○事前復興の拡がりを加速させるため、復興までの道のりを示す「事前復興セミナー」を開催するとともに、「ラジオドラマ」のシナリオを公募し、広く発信する。

(3) **新** VR活用災害に強いひと・まちづくり事業 **DX** 15,000千円

① 「防災VR動画」による啓発

○県民の津波避難意識を向上させるため、「VR動画」を活用した啓発を展開する。  
 ・県立防災センターに、児童・生徒をはじめ県民が楽しく学習できる「VR体験ブース」を整備

② 「地区防災計画」策定支援

○地震・津波による「死者ゼロ」を目指すため、「VR動画」を活用し、地域住民が主体となり「災害時の備え」と「発災時の行動」をまとめる「地区防災計画」の策定を支援する。  
 ・「VR動画」による地域住民の津波避難意識向上  
 ・「地区防災計画策定マニュアル」を作成し、広く横展開

担当：とくしまゼロ作戦課事前復興室、防災人材育成センター



**GX 「水素エネルギー」実装加速！「水素立県とくしま」の推進**

【令和4年度当初予算額 75,500千円】

1 目的 2030年度の目標「温室効果ガス排出量50%削減（2013年度比）」の達成に向け、カーボンニュートラルのキーテクノロジー「水素」の実装を加速し、「水素立県とくしま」を推進する。

2 事業内容 **(1) 「水素立県とくしま」普及促進事業 13,000千円**

「地産水素」を活用した水素ステーションや燃料電池バスの路線運行など全国をリードする「水素立県とくしま」を広く国内外に発信し、全国のGXを牽引する取組みを展開する。

- ・「水素グリッド推進協議会」による「大型燃料電池車両」等の調査研究
- ・徳島の玄関口である徳島阿波おどり空港や徳島駅前における普及啓発の実施
- ・新たな水素ビジネスの展開に資する「水素ビジネスセミナー」の開催



TOKUSHIMA H2 CHALLENGE

**(2) (新) 新たな水素供給拠点整備構築事業 50,000千円**

大型燃料電池車両等の導入を見据えた、新たな「水素供給拠点」の整備に対し、国と連携して、補助を行い、広域的水素サプライチェーンの構築を図る。

【補助率】：国補助残額の1/2 【上限額】：最大50,000千円

**(3) (新) ゼロカーボン・ドライブ普及促進事業 12,500千円**

県民・事業者の燃料電池自動車（FCV）購入に対し、国と連携して、補助を行い、県内のFCVの普及を促進する。また、災害時の電力供給に資するFCV外部給電器を補助対象に加え、「未来志向避難所運営モデル検証事業」等での活用を図る。

- ・燃料電池自動車 【補助率】：国補助額の1/2 【上限額】：最大1,000千円
- ・外部給電器 【補助率】：国補助額の1/2 【上限額】：最大250千円

担当：グリーン社会推進課



**新 GX 実装に向けたCNP計画検討事業**



【令和4年度当初予算額 10,000千円】

1 目的

本県は、脱炭素化の実現に向け、2030年度に温室効果ガスを2013年度比で、50%削減の目標を掲げ積極的に取り組んでいるところ。また、国土交通省も、2050年カーボンニュートラル、グリーン社会の実現に向け「国土交通省グリーンチャレンジ（2021.7）」を取りまとめ、重要港湾において脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて、温室効果ガスの削減を行うカーボンニュートラルポート（CNP）形成を全国展開することとしている。こうしたことから、本県重要港湾において脱炭素化の実現を図るため、CNP形成に向けた計画を策定する。

2 事業内容

**新 徳島小松島港CNP形成計画の策定 10,000千円**

「CNP形成計画策定マニュアル（国土交通省2021.12）」を踏まえ、「徳島小松島港」において、国、地元市町、関係企業など港湾関係事業者とともに「協議会」を設置し、CNP形成計画を検討・策定

- 港湾地域の面的・効果的な脱炭素化の検討  
（検討事項）
  - ・港湾における温室効果ガスの発生量の推計
  - ・荷役機械、運搬トラックのFC化など、港湾オペレーションの脱炭素化
- 次世代エネルギーサプライチェーンの拠点としての受入環境の検討  
（検討事項）
  - ・既存ストックを有効活用した次世代エネルギーの受入環境構築
  - ・効率的なサプライチェーン構築のための港湾間の連携

担当：運輸政策課



# 新 海洋ごみ発生抑制に係るプロモーション事業



【令和4年度当初予算額 6,000千円】

## 1 目的

近年、海洋プラスチックごみ対策が世界的な課題となる中、本県の海岸にも、プラスチックを始めとした様々な漂着物が押し寄せるなど、海岸環境の悪化、美しい浜辺の喪失、海岸機能の低下、漁業への影響が深刻化している。

このため、海洋ごみの発生抑制対策を推進し、海岸における良好な景観及び環境を保全するとともに、資源循環を促進し、脱炭素化に向けた循環経済への移行を図る。

## 2 事業内容

### 海洋ごみ発生抑制に向けたプロモーションの展開 6,000千円

県民が、海洋ごみの発生抑制について「何ができるか、自ら考え、行動に移す」ことへと意識を高めていくため、プラスチックを含む海洋ごみの現状発信や環境学習動画の制作、配信など、プロモーション事業を展開する。



徳島県海岸漂着物  
対策推進地域計画

#### ○海洋ごみの現状を県HP等で配信

- ・ 県内の海岸線における漂着ごみの状況をドローン撮影し、動画編集
- ・ 「海岸漂着物・組成調査結果」を活用した海洋ごみ発生源の分析

#### ○環境学習動画等による啓発

- ・ 海洋ごみの「発生原因」や「環境影響」を理解し、発生抑制の行動を促す「小中学生向け」動画の制作
- ・ 海洋ごみ問題への関心を高め、発生抑制の取組みを促進するパンフレットの作成

担当：環境指導課

**GX** **新** 「経済と環境の好循環」による脱炭素社会推進事業



【令和4年度当初予算額 2,500千円】

1 目的 気候変動対策の「緩和策」と「適応策」を効果的に推進するため、県民・事業者のライフ・ビジネススタイルの転換を促進し、「経済と環境の好循環」による脱炭素社会の実現や「適応策」の普及を図る。

2 事業内容 **(1) 新 「経済と環境の好循環」実現へ！「緩和策」推進 1,600千円**



徳島県気候変動対策推進計画（緩和編）

- 「徳島版ESG地域金融活用協議会」運営事業
  - ・ 産学官金で構成する「徳島版ESG地域金融活用協議会」を活用した、環境配慮型経営への転換や、環境ビジネスの創出に向けて取り組む中小企業をはじめとした事業者の資金調達や展示会への出展を支援する。
- 自家消費型太陽光発電エコクレジットモデル事業
  - ・ 一般家庭を含めた自家消費型太陽光発電設置者の自家消費分の「CO<sub>2</sub>削減量」に、県独自の「クレジット（環境価値）」として、金銭的価値を付与する。
  - ・ 当クレジットを集約、流通、還元することにより、自家消費型太陽光発電の普及を促進するとともに、クレジットを購入した企業は、CO<sub>2</sub>排出削減が達成（カーボンオフセット）され、資金循環による「経済と環境の好循環」を生み出す。

**(2) 気候危機を迎え撃つ！「適応策」推進 900千円**



徳島県気候変動対策推進計画（適応編）

- 適応情報収集・普及啓発事業
  - ・ 暮らしの中で感じる気候変動への適応事例を、県民から収集するとともに、「徳島県気候変動適応推進員」による適応策事例の情報発信を行う。
  - ・ 親子で体験しながら適応策について学べる「気候変動適応策フェア（仮称）」の実施、気候変動適応啓発グッズの作成、気候変動適応推進員のスキルアップ研修により、「適応策」の普及を図る。

担当：グリーン社会推進課

1 目 的 脱炭素社会の実現に向け、「持続可能な社会の創り手」を育成するため、環境負荷の低減や自然との共生に継続的に取り組む学校を、本県独自に「とくしまGXスクール」として認定するとともに、1人1台端末の活用や企業との連携により、児童生徒一人一人の意識改革と行動変容を促すなど、小学校段階から高等学校段階まで一貫した取組みを推進する。

2 事業内容

**(1) 「とくしまGXスクール」の認定**

プラスチックごみ、食品ロス削減など、「学校全体」で環境とSDGsが関わる取組みを実践する学校の認定制度を創設し、令和7年度末までに小・中・高・特別支援学校の全校での認定を目指す。

**(2) 「スーパーとくしまGXスクール」による牽引**

とくしまGXスクール認定校の中から、例えば大学やNPO法人と連携したSDGsの学習など、先進的な取組みを実践する学校（小・中・高・特別支援学校）をモデル校に指定するとともに、新たな環境学習プログラムを開発し、他の学校に広く横展開を図る。

**(3) 事業推進のための方策**

- ・ 1人1台端末を活用し、児童生徒一人一人のエコ活動を見える化する  
「とくエコポイント」システムの構築
- ・ 「GX推進企業バスツアー」等、企業と連携した体験学習機会の創出
- ・ 環境省主催「環境学習推進リーダー養成研修会」へ教員の派遣
- ・ 「脱炭素型ライフスタイル」への転換を地域・家庭へ啓発する研修会の開催 など

# 未知を切り拓く、新時代「ダイバーシティとくしま」の実現



【令和4年度当初予算額 304,031千円】

【令和5年度債務負担行為設定額 21,000千円】

## 1 目的

校舎の狭隘化、老朽化が進む国府支援学校の整備を進めるとともに、「ダイバーシティとくしま」の取組みを加速するため、特別支援学校においてSDGsによる新たな取組みの創出や、医療的ケア児の社会参加支援の充実を図るなど一人一人が輝き、活躍できる「新時代の特別支援教育」を推進する。

## 2 事業内容

### (1) 新時代対応！国府支援学校整備事業 280,000千円



「国府支援学校整備事業HP」

児童生徒数の増加による校舎の狭隘化や、築47年が経過して老朽化が進む国府支援学校の抜本的な整備を行うため、工事に先立ち、埋蔵文化財調査を実施するとともに、新校舎棟の関連工事や新体育館棟の実施設計に着手する。

- 埋蔵文化財発掘調査 第二期 令和4年4月～令和5年1月（予定）
- 新校舎棟関連工事 令和4年9月～（予定）
- 新体育館棟の実施設計 令和4年9月～（予定）

### (2) (新) 新時代「特別支援学校SDGs」創出事業 GX 11,000千円



「特別支援まなびの広場HP」

「ダイバーシティとくしま」や特別支援学校「SDGs」の実現に向けた新たな取組みを創出するため、「地域貢献活動」や「文化・スポーツ活動」に加え、県産野菜等を活用した「新たな6次産業化の取組み」を実施する。

- ・「でり・ばりキッチン阿波ふうど号」との協働による商品開発
- ・徳島の伝統「藍」（沈殿藍）を活用した新たな商品開発 等

### (3) (新) 特別支援教育「地域まるごと専門性向上」事業 6,000千円

特別な支援を必要とする児童生徒や医療的ケア児の増加に伴い、小・中学校の特別支援学級に関わる教員等の専門性を強化する支援体制の整備や、医療的ケア児一人一人の社会参加支援の充実を図るなど、特別支援教育の「専門性向上」や「サポート体制の構築」を図る。

### (4) 発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業 7,031千円

発達障がいのある児童生徒について、就学前から卒業後の就職まで切れ目のない支援体制を構築するため、本県独自の「ポジティブな行動支援」の全県展開を図るとともに、テレワークをはじめとする就労支援を推進する。

担当：特別支援教育課

# 災害列島を迎え撃つ「安全・安心」の実装



【令和4年度当初予算額 137,500千円】  
 【令和3年度2月補正額 22,000千円】

1 目的 切迫する「南海トラフ巨大地震」や頻発化・激甚化する「豪雨災害」を迎え撃つため、「DX・GX」における先端技術の積極的な実装による「災害対応力の強化」を図り、県民の「安全・安心」を確保する。

2 事業内容 **(1) 「とくしまゼロ作戦」県土強靱化推進事業 DX 148,500千円**

○大規模災害時の「死者ゼロ」を目指すため、「事前復興」や「DXの活用」を推進する市町村の取組みを支援する。

①事前復興総合支援事業

ハード・ソフト両面から「事前復興」の実践的な取組みを総合的に支援

- 《補助例》 ・ 応急仮設住宅用地となる防災公園の整備  
 ・ 地域住民による「事前復興計画」策定 等

【補助率】：1/2 【上限額】：1,500千円 ~ 最大5,000千円

②DX防災先進技術活用モデル推進事業

市町村の災害対応力を強化するため、公募によりDXの先進的な取組みを支援

【補助率】：1/2 【上限額】：最大2,500千円

**(2) ① 未来志向避難所運営モデル検証事業 DX 8,000千円**

○避難所の機能強化、生活環境（QOL）の向上、新型コロナ対策等を推進するため、「DX・GX」を活用した避難所運営モデルを検証し、市町村に横展開する。

- 《検証例》 ・ マイナンバーカード活用による、非接触の避難所受付や人員管理  
 ・ 避難所の混雑状況を、AIによりカメラ画像から分析・発信  
 ・ 燃料電池車やEVによる、避難所の電源確保

**(3) WITHコロナ・事前避難促進事業 3,000千円**

○要配慮者の「事前避難」を促進するため、ホテル・旅館の宿泊費の一部を助成する。

【補助率】：1/2 【上限額】：2,500円/人 ※市町村への補助制度



コロナ禍における  
避難所運営のポイント

担当：とくしまゼロ作戦課

【令和3年度2月補正額 9,500千円】

1 目的 大規模地震の際、被災者が一日も早く帰宅できる環境を整えるため、住宅をはじめとする「建築物」や「宅地」を安全に使用できるかどうかを判断する「被災建築物・宅地応急危険度判定」を円滑かつ迅速に行うための支援システムを構築する。

2 事業内容 **新** 被災建築物・宅地判定活動支援システム構築事業 9,500千円

建築物や宅地の被災状況の把握、判定士の調整、判定結果の集計について、県・市町村間で共有できるシステムを構築し、判定活動に活用する。

- 「被災状況の把握」機能
  - ・ 判定士による建築物・宅地の被災状況に関する記録写真の登録
  - ・ 登録内容の地図上での閲覧
- 「判定士の調整」機能
  - ・ 判定士の被災状況、参加の可否の確認
  - ・ 判定区域、集合場所、スケジュール等の連絡
- 「判定結果の集計」機能
  - ・ 判定結果の入力、自動集計
  - ・ 地図上での判定結果の色分けによる可視化

1 目的 医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始（令和6年4月1日）に向け、地域における医療提供体制を確保しながら、医師の労働時間短縮を強力に推進するため、医療機関が実施する「医師の勤務環境改善」に向けた取組みを支援する。

2 事業内容 **地域医療勤務環境改善体制整備事業 92,000千円**

地域において中核的な役割を担う医療機関が「労働時間短縮計画」に基づいて実施する「医師の勤務環境改善」に向けた取組みに係る経費を補助する。

**【補助対象者】**

上限規制「地域医療確保暫定特例水準（B・連携B水準）※」に該当し、かつ、救急車受入件数等、国が定める一定の要件を満たす医療機関  
 ※ 原則年間1,860時間・月100時間未満

**【補助対象経費（例）】**

- ・ 勤怠管理システムの導入等、ICTを活用した勤務環境改善に要する経費
- ・ 勤務間インターバルの確保に必要となる「医師の休憩環境の整備」に要する経費
- ・ タスク・シェアリングに伴う医療専門職等の雇用に要する経費

**【補助金額】**

標準単価：稼働病床数（療養病床除く）1床あたり133千円（上限額）  
 補助率：ハード事業1/2 ソフト事業10/10  
 補助金額：標準単価と、実際に必要なそれぞれの経費に補助率を乗じて得た額を比較して少ない方の額を補助金額とする。

【令和4年度当初予算額 165,000千円】

**1 目的** 介護職員の業務負担の軽減を図り「介護人材の確保」につなげるとともに、科学的介護に基づく「質の高いサービスの提供」を実現するため、介護現場における「ICT」や「介護ロボット」の導入を支援する。

**2 事業内容 (1) ICT導入支援 130,000千円**

介護現場における膨大な紙媒体による記録や書類作成の負担から、介護に専念できる職場環境を整えるとともに、データの蓄積やエビデンスに基づくサービス提供を促進するため、タブレット端末や、記録から請求までを一元的に管理するシステムなど、ICTの導入を支援する。

【補助率】：3／4または1／2

【上限額】：最大260万円

**(2) 介護ロボット導入支援 35,000千円**

身体介護に伴う腰痛や夜間の見守りなど、介護職員の負担を軽減するとともに、利用者の自立支援を促進するため、移乗や入浴、見守り・コミュニケーションを補助する介護ロボットの導入を支援する。

【補助率】：3／4または1／2

【上限額】：1機器あたり最大100万円

(見守り機器の導入に伴う通信環境整備費は、別途最大750万円)

担当：長寿いきがい課

DX

⑧ スポーツDX推進事業



【令和3年度2月補正額 3,500千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染防止のため、運動不足の状況にある障がい者や高齢者、外出することが困難な子育てや介護を行う方々が、「新たな日常」の下、安全・安心にスポーツに取り組むことができるよう、DXを活用した持続可能なスポーツ環境を整備する。

2 事業内容 (1) DXを活用した配信環境の整備 1,500千円

運動実施率の向上を図るため、時間や場所を問わずスポーツに取り組むことができるオンラインによるスポーツプログラムの配信環境を整備する。

(2) スポーツプログラムの作成、配信 2,000千円

プロスポーツ選手や監督等によるセミナーや、スポーツコーディネーター、健康運動指導士によるニーズに応じた健康講座メニュー等、魅力あるスポーツプログラムを作成、配信する。

担当：スポーツ振興課

# チャレンジ！健康寿命アップ事業

【令和4年度当初予算額 8,816千円】

【令和3年度2月補正額 5,000千円】

## 1 目的

人生100年時代と言われる今日、糖尿病をはじめとする生活習慣病を予防し、個人の生活の質(QOL)の低下を防ぐとともに、健康寿命の延伸を図るため、「とくしま健康ポイントアプリ『テクとく』」の更なる活用やシニアフィットネスの開催により、子どもから高齢者まで全世代を対象とした運動習慣の定着や生活習慣の改善を加速する。

## 2 事業内容

### (1) 子どもと働き盛り世代への運動機会の提供 11,316千円

- 運動時間が減少している子どもと働き盛り世代である親と一緒に運動する習慣の定着を目指し、「テクとく」を活用した親子でチャレンジできる「謎解きツアー」イベントを開催
- 企業における健康経営の推進を図るため、健康経営のツールとして「テクとく」を活用し、従業員の健康意識、歩数等の調査結果を企業にフィードバック

### (2) シニア世代への運動機会の提供 2,500千円

- シニア世代の運動習慣の定着化を図るため、介護保険施設や集会施設において、身近で地域にひらかれた「健康にぎわいの場」を創出し、運動機会を提供



## DXを捉えて！消費者政策の国際拠点化の推進



【令和4年度当初予算額 42,380千円】

【令和3年度2月補正額 6,000千円】

### 1 目的

「デジタル社会への即応」という「G20消費者政策国際会合」から受け継ぐレガシーを  
発展させるため、「消費者庁新未来創造戦略本部」との連携のもと、DXを捉えた新次元の  
施策展開を通じ、徳島における「消費者政策の国際拠点化」を推進する。

### 2 事業内容



とくしま国際消費者  
フォーラム2021

#### (1) ①世界へ発信！消費者政策「国際拠点化」推進事業 **DX** 31,300千円

「G20国際会合」やこれまでの「国際会議」で提起された「DXの光と影への対応」や  
「若年者への消費者教育」等の共通課題の解決に向け、オピニオンリーダーが集う  
「とくしま国際消費者フォーラム2022（仮称）」を開催する。

- ・ 国内外の若者を招聘した「未来セッション（仮称）」の開催
- ・ リアルとオンラインの「ハイブリッド方式」を駆使した国内外への発信強化

#### (2) ②消費者行政・消費者教育国際連携ネットワーク強化事業 11,080千円

G20国際会合参加者や学識経験者等からなる「国際連携ネットワーク（TIS）」を  
はじめ、これまで培ってきた人的ネットワークを活かし、グローバルな視点から  
本県の消費者政策の更なる進化を図る。

- ・ 欧米やASEAN諸国などの「消費者政策キーパーソン」をターゲットに、  
WEB会議システム等のDXを活用した国際連携体制の強化

#### (3) ③世界の架け橋へ！とくしま消費者政策グローバル化推進事業 **DX** 6,000千円

「消費者政策の国際拠点・徳島」を次世代に繋いでいくため、県内の高等教育機関と  
連携し、若い世代による未来志向に立った「新たな国際連携」を構築する。

- ・①海外と県内の大学生や高校生などによる、エシカル消費やSDGs等の最新潮流を  
テーマとした「オンライン交流会」の開催

担当：消費者政策課



1 目的 「ポストコロナ新時代」の持続可能な社会を構築するため、SDGsの理念のさらなる共有と県民や企業等それぞれの「主体的な取組みの輪」を広げるとともに、SDGsに取り組む企業等を支援するなど、日本をリードする施策を展開する。

2 事業内容 **新**オール徳島SDGs推進事業

「徳島版SDGsの実装」に向け、個人、企業等の多様な主体が一体となって取り組む体制を構築し、地域課題の解決や地域における自立的好循環に向けた取組みを推進する。



(1) 徳島SDGsプラットフォーム（仮）の設立

○ SDGsの理念に賛同する個人、企業等の多様なステークホルダーの連携により、オール徳島での推進体制となる、「徳島SDGsプラットフォーム（仮）」を設立し、先駆的な取組みの共有や総合的な情報発信を行う。

SDGs×徳島県サイト

(2) 徳島SDGsパートナー登録制度（仮）の創設

○ SDGsに取り組む企業の価値向上や競争力の強化とともに、広く周知を図るため、SDGsに資する具体的な取組みや目標を設定する企業等を対象とした登録制度を創設する。

(3) 徳島SDGsフォーラム（仮）の開催

○ SDGs達成に向けた全県的な機運醸成を図るため、有識者による講演会や事業者の取組発表から先進事例を学ぶフォーラムを開催する。

など

1 目的 デジタル社会の進展やSDGsの実現を見据え、多様化が進む消費者問題に迅速に対応するとともに、「誰一人取り残さない」持続可能な消費者市民社会を率先して形成するため、徳島ならではの「新次元の消費者行政・消費者教育」を加速する。

2 事業内容 **新しい未来へ！徳島がはじめるSDGs実践プロジェクト** 55,000千円

消費者政策創造の恒常的拠点である「消費者庁 新未来創造戦略本部」との緊密な連携のもと、DX時代に対応した「デジタル教材」を活用する「全世代型の消費者教育」をはじめ、「徳島ならではの実践型プロジェクト」を展開する。

(1) **新**「全世代への消費者教育」の推進

- ・成年年齢引下げ施行に伴う消費者被害の防止に向けた、インターネットにおける「ターゲティング広告」等を活用した徹底プロモーションの展開
- ・成人向け「持続可能な消費生活シミュレーション・デジタル教材」の制作・情報発信
- ・高齢者向け「消費者教育デジタル教材」関連テキストの作成・活用促進

(2) 多様な主体と繋がる「エシカル消費」の推進

- ・**新**県民のエシカル消費「実践力」向上を目的とした、「日常的な消費の場」である量販店等における新たな普及啓発戦略の展開
- ・**新**世界の新たな潮流である「サステナブルファッション」を強力に推進するため、「SDGsシンポジウム」の開催などを通じ、DXを活用し国内外へ発信

(3) 「サステナブル経営」の推進

- ・**新**消費者志向自主宣言事業者数の拡大とともに、各事業者において消費者志向経営の深化を図ることを目的とした、県の「中小企業向け融資制度」の拡充や県HP・SNSでの積極的発信など、新たなメリットシステムの導入

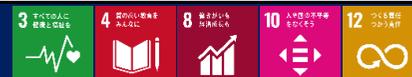
など



とくしまSDGs  
消費者教育教材

担当：消費者政策課

# 未来にはばたけ！障がい者就労促進事業



【令和4年度当初予算額 48,980千円】

1 目的 「WITHコロナ」時代における障がい者就労支援施設の安定的な生産活動を確保し、障がいのある方の自立と社会参加を一層推進するため、就労製品の魅力向上や就労分野の多様化を支援する。

2 事業内容 (1) 「awanowa」がつなぐ「障がい」理解促進事業 2,180千円

- 「awanowa」ブランドの販路拡大の取組みを契機とした障がい理解の促進を支援
- ・企業等と連携した「新しい生活様式」に対応する商品開発
  - ・優れた技術を持つ「マイスター」の「ものづくり」実演による就労製品の魅力発信

(2) 障がい者いきいき活躍就労促進事業 20,000千円

- 就労製品の販売拡大等を図るため、ブランド化や高品質化、販路の多角化を支援
- ・「SDGs」や「エシカル消費」といった社会の潮流を捉えた「イメージ戦略」の展開
  - ⑨「民需」の獲得に向けた、新たな一般企業との「マッチング・イベント」の開催

(3) ⑨「新」ノウフクが「見える化！」生産技術活用事業 **DX** 2,500千円

- 施設に対する農業技術支援体制の強化・革新を図るため、デジタルを活用した「栽培ノウハウ」の蓄積と、活用しやすい環境整備を支援
- ・「分かりやすい農業技術動画」を「スマートフォン」等で閲覧できる
  - 「ノウフク・デジタルマニュアル」の整備
  - ・農福連携の「優良事例動画」を収集し、施設間で共有可能な「掲示板」の整備

(4) とくしま農福連携ネットワーク加速化事業 24,300千円

- 施設が取り組む農業を推進するため、生産・販売指導や農業者との連携を支援
- ⑨「藍や竹糖などの「伝統作物」栽培をはじめとする「地域の農業」との連携推進
  - ⑨「農福連携で培ったノウハウを活用した「林福・水福連携」の推進

障がいのある人たちの「働きたい」を知って・買って・支える。



あわのわ  
ONLINE SHOP

担当：障がい福祉課

# 誰もが輝く！「ダイバーシティとくしま」の実現



【令和4年度当初予算額 7,000千円】

**1 目的** 多様な主体が共生・交流・活躍する「ダイバーシティとくしま」を実現するため、県民1人ひとりに「ダイバーシティ」の価値をしっかりと理解していただくとともにユニバーサルカフェを核とした地域の支え合いを支援する。

**2 事業内容** **(1) ①新 ダイバーシティとくしま推進事業** 4,000千円



ダイバーシティとくしま  
実装事業

ユニバーサルカフェをはじめ、ダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいる個人や団体を表彰する「ダイバーシティとくしま大賞（仮称）」を創設するとともに、若者や高齢者、障がい者、外国人等がアイデアを出し合うフューチャーセッションや県民向けフォーラムを開催する。

**(2) ①新 ユニバーサルカフェ支え合い促進事業** **DX** 3,000千円



ユニバーサルカフェの認定

ユニバーサルカフェの運営をサポートし、更なる活性化を図るため、クラウドファンディングや、フードバンクの活用についての学びの場を提供するとともに、オンラインを活用し、ユニバーサルカフェの運営者や利用者を対象に、地域を越えた交流の機会を創出する。

担当：ダイバーシティ推進課

1 目的 児童虐待の未然防止や早期発見につなげるため、子どもや家庭がより相談しやすい「SNS」を活用した相談環境を整備し、児童相談所の支援機能の強化を図る。

2 事業内容 SNS相談業務委託

国の「虐待防止のためのSNSを活用した全国一元的な相談の受付体制の構築」を受け、「SNS」上で子どもや家庭からの一般的な子育て相談から虐待相談まで幅広い相談に対応できる環境を整備し、適切な支援につなげる。

【運用開始時期】

令和4年11月1日（予定）

※国の一元的な相談の受付体制開始と同時

【通告があった場合の対応】

虐待通告は「児童相談所虐待対応ダイヤル（189）」に電話連絡いただくように「SNS」上で案内し、児童相談所につなぎ、「通告」として受理する。

## 新 県営住宅高齢者見守りサービスモデル事業



【令和4年度当初予算額 2,000千円】

1 目 的 県営住宅において増加する単身高齢者の孤立化への不安を解消するため、空室に高齢者を見守る者に入居していただき、日頃からコミュニケーションを取りながら、IoT機器を活用した高齢者見守りサービスを提供する。

2 事業内容 **新 高齢者見守りサービスの提供** 2,000千円

単身高齢者対策のモデル事業として、次の見守りサービスを提供する。

希望者の住戸に、24時間点灯がない場合に通知する電球等のIoT機器を設置し、緊急時には自治会や地域の関係者と連携しながら対応することで、離れて暮らす親族の不安の解消を図る。

(連絡体制)

IOT機器 → 親族 → 住宅管理者 → 自治会等

加えて、移住希望者やセミリタイヤ世帯、サテライトオフィス利用希望者などが、空き室に安価で入居し、月一回程度、高齢者への声かけを行い、社会的孤立を予防する。

## 新 医療的ケア児等支援体制整備事業



【令和4年度当初予算額 14,825千円】

1 目的 医療的ケア児とその家族が、住み慣れた地域で安心できる生活を確保するため、相談や情報提供などにワンストップで対応する「医療的ケア児支援センター」を整備し、センターを核とした支援体制の構築を推進する。

2 事業内容 (1) 「徳島県医療的ケア児支援センター検討会」の開催 325千円

保健、医療、福祉、教育等の関係機関が参画する「検討会」を開催し、令和3年度実施の「実態調査」による、医療的ケア児の生活実態や支援ニーズに基づき、「医療的ケア児支援センター」の設置に向けた検討を行う。

(2) 医療的ケア児支援センターの開設 14,500千円

医療的ケア児とその家族からのさまざまな相談にワンストップで対応するため、専門相談員の配置による「相談窓口の設置」、在宅生活を支える「支援人材の育成」や「関係機関相互の連携・調整」を一元的に行う中核的な支援拠点となる「医療的ケア児支援センター」を令和4年度中に開設する。

担当：障がい福祉課

## 新 ヤングケアラー支援事業



【令和4年度当初予算額 6,915千円】

1 目 的 「家族構成の変化」等を背景に、大人が担うべき家事や世話、介護等を日常的に行っている「ヤングケアラー」の実態を把握し、必要な支援につなげるため、「子ども」や「福祉関係職員」を対象とした「実態調査」や、「ヤングケアラー」の理解促進に向けた研修の実施により、支援の強化を図る。

### 2 事業内容 (1) ヤングケアラーの実態把握 5,415千円

県内の「ヤングケアラー」が支える家族の状況を調査・分析することにより、「本県独自の課題」について明らかにするとともに、子ども自身の「気づき」にもつなげるため、「実態調査」を実施する。

- ・当事者である「子ども自身」に対する調査
- ・関わりが想定される「介護・障がい福祉」専門職員に対する調査

### (2) ヤングケアラーに関する研修の実施 1,500千円

- 「ヤングケアラー」支援に携わる関係機関の理解促進とともに、県民全体の「社会的認知度向上」を図るための研修会を開催
- 「実態調査」の結果を踏まえ、支援ネットワーク構築に重点を置いた「実践的な研修会」を開催



厚生労働省HP  
(ヤングケアラーについて)

担当：次世代育成・青少年課こども未来応援室、長寿いきがい課、障がい福祉課、人権教育課

## 妊産婦や乳幼児が安心して避難できる避難所の確保



【令和4年度当初予算額 4,300千円】

1 目的 災害時において、妊産婦や乳幼児が安心して避難できる避難所を増やすため、新たに福祉避難所で妊産婦や乳幼児を受け入れる市町村へ資機材の整備に要する経費を支援するとともに、新たに、避難した妊産婦や乳幼児に対してケアを行うための体制を強化する。

2 事業内容 (1) **① 妊産婦・乳幼児災害時避難生活安心確保事業** 3,000千円

- 新たに妊産婦や乳幼児を受け入れる福祉避難所への資機材の整備促進  
福祉避難所で妊産婦や乳幼児を受け入れる際に必要となる「子ども用おむつ」や「粉ミルク」等の資機材の整備に要する経費を補助し、受入体制の充実を図る。

【補助率】 10/10

【上限額】 新たに妊産婦や乳幼児を受け入れる福祉避難所 1カ所につき15万円

(2) **災害福祉支援ネットワーク構築推進事業** 1,300千円

- 災害時に避難所でケアを行う「災害派遣福祉チーム」の強化  
「災害派遣福祉チーム」は、主として介護福祉士などの福祉職で構成され、高齢者や障がい者のケアを行っているが、新たに妊産婦や乳幼児のケアを行うための体制を強化する。

【新たな取組み】

- ・ 災害時における要支援者の避難生活の支援について協議を行う  
「災害福祉支援ネットワーク」への「看護協会」及び「助産師会」の参加
- ・ 「災害派遣福祉チーム」のメンバーに対する「妊産婦・乳幼児ケア」の研修
- ・ 災害時に「災害派遣福祉チーム」と「看護師・助産師」が連携してケアを行うための研修・訓練の実施
- ・ 妊産婦や乳幼児を受け入れる福祉避難所での支援時に必要となる備品や消耗品の整備

担当：保健福祉政策課

# フレイル予防推進事業



【令和4年度当初予算額 16,513千円】

**1 目的** 県民一人一人が「栄養・運動・社会参加」の三要素を柱とするフレイル予防を実践し、生涯にわたり健康で生きがいを持って、活躍できる健康長寿社会の実現を目指すため、高齢者がフレイル予防に取り組みやすい環境づくりを推進する。

**2 事業内容** **(1) 「フレイル対策」を推進するための体制整備 3,100千円**

市町村と連携し、フレイル予防の啓発を行う「フレイルサポーター」を養成するとともに、フレイル予防の好事例を横展開し、フレイルの兆候を「早期発見、早期予防」につながる体制整備を行う。

- ・「フレイルサポーター養成講座」の開催
- ・「活動報告会」の開催や「好事例集」の作成

**(2) 民間・専門職団体と連携した普及啓発 8,413千円**

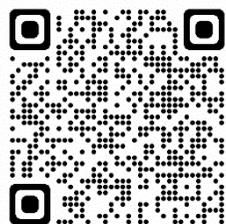
コロナ禍での外出機会の減少による「フレイルリスク」を低減させるため、高齢者が自ら気軽に実践できるフレイル予防の普及啓発を図る。

- ・地域の実情に詳しい「移動スーパー」との共働による啓発活動の展開や、テレビCMを通じたフレイル予防の啓発
- ・理学療法士会や栄養士会など、専門職団体と連携した「フレイル予防体操」や「低栄養予防」動画の作成・配信

**(3) ① 高齢者の「通いの場」への参加促進 5,000千円**

身近な場所で、高齢者が自主的に集まり、体操や趣味の活動に生き生きと取り組む「通いの場」の魅力を発信し、地域活動に参加する「きっかけづくり」を行う。

- ・「心身の活力改善」や「仲間づくり」につながった「アクティブシニア」の声を紹介する動画の作成・配信



県民総ぐるみ！フレイル予防で「健康長寿」  
「生活不活発」にも注意

担当：長寿いきがい課

# 県立中央病院ER棟整備推進事業



【令和4年度当初予算額 3,632,580千円】

1 目的 県立中央病院におけ「感染症にも対応した救命救急機能」、「災害対応機能」、「人材育成機能」、「5Gを活用した地域医療支援機能」の4つの機能を強化し、医療提供体制の充実強化を図るため、ER棟を整備する。

## 2 事業内容 (1) 県立中央病院ER棟の整備概要

- 1階：「救急外来」、「小児救急」を拡充するとともに陰圧設備を備えた「感染症外来」を整備
- 2階：本館棟の内視鏡検査室を移設し、「内視鏡センター」を充実強化
- 3階：通常時は、5Gを活用した遠隔診療室や会議室、災害時は、災害対策本部、DMAT活動拠点本部としてシームレスに対応
- 4階：本館棟<sup>\*</sup>ICUの拡充にあわせ、<sup>\*</sup>HCUを仮移設
- 5階：専用エレベーターにより本館棟感染症病棟と直結

※ ICU：集中治療室 HCU：高度治療室

## (2) 建物の概要

構造：鉄筋コンクリート造5階建て、免震構造  
延面積：約6,500㎡

## (3) スケジュール

- ① 令和4年末：県立中央病院ER棟竣工
- ② 令和5～6年度：本館棟改修によるさらなる高度医療機能の向上
  - ・ 本館棟「ICU・HCU」、「外来化学療法室」を拡充し、高度な医療提供体制の構築
  - ・ ER棟「HCU」を移設後、「スキルスラボ」を設置し、専門性の高い人材を育成

担当：経営改革課